教務だより

伸びる夏　伸ばす夏
夏は思いっきりの集中勉強

CONTENTS >>

塾長の巻頭言 01
夏のスケジュール 02
「合格」は良い習慣作りで！
夏を成功させるための７つのチェック 03
「変化の時代」の受験トピックス 05
夏を征するものは受験を征す。
受験生それぞれの夏 07
心を決める夏-合宿生徒作文 09
野次馬おじさんの体験レポート
ドキュメント2007夏の志賀高原 11
茗渓塾が創る夏の集中学習
夏期合宿のご案内 14
＜小学部＞
•小5受験 森のスクール •小6受験 夏期合宿
•小6公立中高一貫校受検 夏期合宿
＜中学部＞
•中1特進選抜 夏期合宿
•中2特進選抜 夏期合宿
•中3特進選抜 夏期合宿
•中3短期集中特訓
＜高校受験部＞
•高1夏期合宿 •高2 高3夏期合宿
＜マイプラン型高原学習＞
•小学生マイプラン型（小4・小5・小6）
•中学生マイプラン型（中1・中2・中3）
•高校生マイプラン型（高1・高2・高3）
夏期講習のご案内 17
＜小学部＞
•小学生中学受験コース（小3～小6）
•公立中高一貫校受検コース（小4～小6）
•小学生ピラミッドコース（小3～小6）
•小学生英語コース（小1～小6）
＜中学部＞
•高校受験（中1～中3）
進学クラス・選抜クラス・特進クラス
•一貫校中学生コース（中1～中3）
＜大学受験部＞
•高3対象特設講座
•高3対象通常講座
•高2対象通常講座
•高1対象通常講座
•合同実施講座
アシスト（個別学習ルーム）／eトレ 25
第21回ソフトボール大会／ポイントカード 26
夏期講習申し込み方法／教室一覧 27

茗渓塾 MEI KEI JYUKU

夏は思いっきりの集中勉強を

いよいよ本格的な夏の到来です。もうすぐ長い夏休みです。といっても受験学年の生徒にとっては正念場といわれるように、長い休みがあるだけに学習のやり方で差が開く時です。中学受験・高校受験・大学受験それぞれにとって大きな意味を持ちます。志望校合格の鍵を握る夏休みですが、「本当に力をつける夏休みをおくれるかどうか」というのは、思ったほど簡単なことではありません。なぜかというと、受験勉強自体がそう簡単なことではないからです。

やるべき事は三つあります。

一つは「今までの学習の全てにわたって復習をし、少しでも不得意を減らすこと」。ただしこれはほんのひとつにすぎません。これだけやれば、レベルが上がると思っている人は、引きこもってこつこつと不得意直しばかりに専念すると思いますが成績は上がりません。模擬試験などで成績が伸びていないことを思い知らされることになります。なぜならそれはやるべき事の一部にすぎないからです。先生の中にも生徒の不得意を「弱い点」克服に一元化する人もいますが、傷をひとつひとつ直していくだけで力がつくという考え自体が間違っています。なぜならそれは、実力をつける前提の作業にすぎないからです。標準の状態を完璧にするだけで受験突破はできません。

ですから二つ目は、「受験のレベルにひきあげる」ということです。習ったことをさらに練習しつつ、「受験」レベルをそれとして体験し、様々なスキルを身につけながらレベルアップを図るということです。今、もし、入試問題を生徒にぶつけたとすると、第一志望校レベルではまだほとんど合格得点が出ないと思います。中学受験・高校受験・大学受験のどの受験でもそうです。入試問題を単元別に経験しながら、レベルアップを図っていくというのが夏休みのもっとも大きな課題です。長い夏休みだからこそ、むずかしいレベルの勉強もそれほど追いつめられることなくできます。この課題は秋以降さらにきつく進められますが、夏の一通りの経験に支えられてレベルアップが保証されるということをみておく必要があります。どのレベルの生徒でも、夏にはこのことをやっておかないと後で伸び悩むことになります。これは受験に必要な体力作りととらえることができます。

三つ目は、「受験に必要なモチベーションをあげる」ということです。私はどうしてもこれが一番大切に思えます。受験といえども人間が行うことです。人間の気持ちを無視した勉強は結局は主体をつぶすことになりかねません。つまり、何のために勉強しているのかということを根本から理解するとともに、そこに大きな充実感や喜びをもてるということが一番大切だと思うのです。子供達の合格体験記を読んでいるとそのキーワードが見えてきます。「できてうれしかった。」とか「仲間がいたからがんばれた！」そんな言葉です。勉強を理屈で考えると、どうも三つ目のことは見えてこないように思います。でもこれが一番大きい事なのです。なぜなら、合格すればそれで物事が

親子で読もう！
春夏秋冬
合格への道しるべ

茗渓塾が毎月発行している「教務だより」の巻頭言として、著者が記したものをベースにまとめたもの。「受験をはじめる前に知っておくべき七つの考え方」、「夏休みの計画を立てる前に」などの項目を収録。

著者：宇野雅春（茗渓塾塾長）
出版社：社会評論社
ISBN：978-4-7845-0623-1
定　価：1,600円（税込）

こんなに伸びた！
中学受験
『合格への道』

好評だった『受験三兄弟』（2000年9月発刊）に長女編を加筆し、再構成。学習塾塾長である著者が、受験生の親として経験した"中学受験体験"。

著者：宇野雅春（茗渓塾塾長）
出版社：グローバル教育出版
ISBN：4-901524-93-3
定　価：1,575円（税込）

こちらでも購入できます。 紀伊国屋書店 Book Web　アマゾン　7&Y セブンアンドワイ　学参ドットコム

お問い合わせは　茗渓塾本部 TEL(03)3320-9661 または、茗渓塾各教室まで

終わるわけではありません。合格した後も人生は続いていきます。いずれは人とのコミュニケーションがもっとも重視される「社会」に登場していくことになります。受験勉強が、それぞれの人間性もうち鍛えてくれるのは確かです。ただやり方で、本人のわがままや、自己中心的なスタイルが温存されてしまう事があります。人間は場面場面で鍛えられていくものです。受験というステージは生徒自身を鍛え成長させるチャンスのはずです。もっとも健全で、しかも効果のある方法を塾は提案し実施していく使命を持っていると思っています。

夏休みの提案としては、学習する日は、朝から晩までやり抜くことをおすすめします。緩やかなスケジュールの方が学習効果が出ると思う向きもありますが、楽しいことを挟むと勉強それ自体はより苦痛の大きいものに見えてきます。勉強の時はそこに集中することで学習のリズムができてきます。休日は遊び、講習のあるときは朝から晩まで勉強に集中すること。先生と友達と一緒にやりきっていくということです。

子供の特性とやる気に十分配慮した指導を続けていきたいと考えています。

「合格への道しるべ」所収

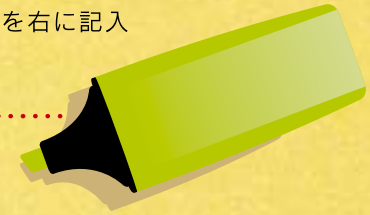
夏のスケジュール

7/22(火)	第1ターム
7/23(水)	
7/24(木)	
7/25(金)	
7/26(土)	
7/27(日)	休み
7/28(月)	第2ターム
7/29(火)	
7/30(水)	
7/31(木)	
8/1(金)	
8/2(土)	フォロー日
8/3(日)	休み
8/4(月)	第3ターム
8/5(火)	
8/6(水)	
8/7(木)	
8/8(金)	
8/9(土)	フォロー日、高3代ゼミ模試
8/10(日)	夏期休業
8/11(月)	
8/12(火)	
8/13(水)	
8/14(木)	
8/15(金)	
8/16(土)	
8/17(日)	
8/18(月)	夏期合宿 森のスクール 集中特訓
8/19(火)	
8/20(水)	
8/21(木)	
8/22(金)	
8/23(土)	休み
8/24(日)	第4ターム
8/25(月)	
8/26(火)	
8/27(水)	
8/28(木)	(夏期講習テスト日)
8/29(金)	ソフトボール大会
8/30(土)	フォロー日
8/31(日)	休み
9/3(水)	新学期スタート

「合格」は良い習慣作りで！

夏を成功させるための７つのチェック

次の７つの質問の解答を真ん中の欄から選び該当する番号を右に記入



受験学年（小6、中3、高3）レディネスチェック

質問	解答例	該当番号
Q1 「勉強しろ！」と親にいわれたときどうしますか？	①やる気が失せ、勉強をしない。 ②腹が立つが、適当に受け流す。 ③親の気持ちもわかるので気にならない。	
Q2 この夏休みをどう考えているか？	①何も考えていない。 ②受験の年なので、今までとは違う夏休みと思って取り組む予定。 ③レベルを上げるチャンスと考えている。	
Q3 部活や家族旅行や友達とのつきあいについて夏休み中はどうしますか？	①用事が出来たら塾を休むこともあるかもしれない。 ②部活は優先、出来るだけ塾には来るつもり。 ③今年は受験の年なので、最優先は受験勉強と決めてある。	
Q4 受験勉強は、競争？	①まわりが勉強しなければ、自分が楽に合格できると考えることがある。 ②絶対に合格したいし、人に負けたくない。 ③自分が目的を達成することと競争は別。友達の合格も喜べる。	
Q5 親とトラブルになったら？	①自分を判ってくれない親を恨む。 ②そのうち仲直りできるのであまり気にしないで成行きに任せる。 ③親の気持ちで考えてみて、その上で自分のことを判ってもらう。	
Q6 集団で学習することについて	①わずらわしいので一人でやりたい。 ②気の合う友達だけで勉強したい。 ③自分と全く違う友達を歓迎。認め合い高めあいたいと思う。	
Q7 講習のない休日はどうしたい？	①休みの日は、ぼんやりしたり、だらだらしていたい。 ②適当に息抜きをし、宿題だけはこなす。 ③勉強を終えたら、ためになりそうな読書や軽いスポーツなどをする。	
	番号数字の合計 ➡	

Check!

その他の学年（小1～6、中1～2、高1～2）レディネスチェック

質問	解答例	該当番号
Q1 勉強についての君の考えは？	①どうせ自分は勉強は不得意なので、出来ればやりたくない。 ②教え方の上手い先生のもとでならやる気も出るので頑張りたい。 ③自分のレベルを少しでも上げたいので、やるときはしっかりやりたい。	
Q2 何のための夏期講習？	①親に無理矢理いかされるので、仕方なく受講する。 ②友達も受講するし、一人でやっていてもつまらないので受講する。 ③自分なりに獲得目標を決めて、そこを達成するために頑張りたい。	
Q3 夏休みに一番やりたい ことは何ですか？	①ぼんやりと好きなように、心をやすめたい。 ②遊びが第一。合間に勉強する。 ③長い休みなので勉強の力を伸ばす事を第一に、 夏しかできない遊びや旅行なども計画実行したい。	
Q4 友達は、勉強の敵ですか？ 勉強の友ですか？	①勉強と友達は全く関係のないもの。 友達は大切なので誘われたら勉強より優先する。 ②友達に負けたくないので、勉強と友達関係はきっちり分ける。 ③友達にも学び、ともに励まし合いながら学習することが大切と考えている。	
Q5 友達や親ともめたとき どんな風に考えますか？	①自分を理解してくれない親や友達に腹を立てる。 ②自分を理解してもらうように、必死で訴える。 ③友達や親がどうしてそういう行動に出たのかを相手の立場に 立って考え理解した上で自分の事も理解してもらう。	
Q6 集団でやる学習をどんな 風に感じていますか？	①集団でやるより一人でやった方が分かると常々考えている。 ②気の合う友達となら楽しく勉強できると考えている。 ③色々と違う友達からそれぞれ違う刺激をもらって 勉強することで学ぶことが沢山ある。	
Q7 長い夏休み、自分にプラスになる ことは何だと思いますか？	①旅行や沢山の遊び ②勉強 ③自分を磨くために学ぶこと全部	
	番号数字の合計 ➡	

番号数字の合計	評 価
9以下	悪い習慣が君の受験勉強の最大の障害になります。努力して、良い習慣を勝ち取ろう。 今まで考えたこともなかったと思いますが、良い習慣作りを意識してみよう。
10～13	真面目に取り組もうという意欲はありますが、どちらにも行ける分岐点にいます。 良い習慣を意識することでレベルアップの道が開けるはずです。
14～16	それなりに真面目な君の状況は可もなく不可もなく。 ちょっとの努力で、相当なレベルアップが可能です。
17～19	ほぼ、良い習慣作りが出来ています。自分を対象化し、まわりも良く観察していくと、 受験での成功だけでなく、人間関係が前進しそうです。
20～21	ほぼ完璧。それが自分の経験から作り上げてきたものなのか、親に押しつけられてきたものなのかで 180度変わってきます。自分の考えでもう一度良い習慣として認識してみよう。

「変化の時代」の受験トピックス

中学受験トピック

早稲田高等学院附属の中学を、2010年度から開校！

つくる、できない等、噂だけが毎年のように先行していた早大学院（早高院）＝早稲田高等学院の附属中学校が、2010年（現小5が受験できる）に開校することが正式に決定しました。定員は男子120名で、30名クラスを4クラス設定ということです。影響の第一は、現中2生以下。附属中学開始にあたり、高1生の定員が減らされていくことになりそう。早稲田大学の系列で、高校からの募集（定員600名）が大きく減っていくことになります。

これで、附属の中学がないのは早大学院本庄だけになり、「高校から早稲田」の道が一段と狭くなりそうです。逆に「中学から早稲田」の道は広くなります。従来、2月1日の早稲田中学、早稲田実業、2月3日の早稲田中学の2回目、のべ3回のチャンスがありました。今後どの日程に入試が入ってくるのか、詳細発表が待たれます。

また、首都圏有名大学MARCH（明治・青山・立教・中央・法政）の中で唯一附属の中学校を持たなかった中央大学にも、中央大学附属高校のもとに中学を開校することが決定しました。（定員150名、30名5クラスで男女共学）2009年からの東京農大三高附属中（男女90名）も含め、中学受験者の増加につながりそうです。

高校受験トピック

来年度（平成21年度）から学習指導要領が変わります

「2002年問題」として各種メディアで騒がれた学習指導要領が、ついに改訂されます。「生きる力」を育むために「ゆとり教育」をするというのが、今までの考え方でした。今回の改訂では「生きる力」を育むという理念を踏襲しつつも、「ゆとり教育」を改める姿勢がうかがえます。

文部科学省による今回の指導要領改訂のポイントから重要なものを挙げてみると、①言語の力、②理数の力、③外国語教育の3項目にまとめられます。

具体的な改訂の内容は右のようにまとめられます。

教科・項目	改訂内容
授業時間数（小学校）	週当たりの授業時数を1・2年生で週2時間、3〜6年生で週1時間増やすことで、国語・社会・算数・理科・体育の授業時数を6年間で約1割増加。
授業時間数（中学校）	週当たりの授業時数を各学年で週1時間増やすことで、国語・社会・数学・理科・保健体育・外国語の授業時数を3年間で約1割増加。
数学	「解の公式」「確率の余事象」「相似比と面積比・体積比の関係」「円周角の定理の逆」が復活。「円」を中2から中3に。中1・3に「統計・資料の活用」が加わる。
理科	「ゆとり教育」以前に学習していた「水圧と浮力」「合成抵抗」「電力量」「仕事とエネルギー」「イオン」「シダ植物・コケ植物」「無セキツイ動物」「遺伝の法則」「進化」「断層・しゅう曲」「日本の天気」「月」が復活。
社会	特定の都道府県・国について学ぶのを改めて、世界では大陸別、日本では地域別の学習にする。
英語	扱う単語について900語程度だったものが、1200語程度に増える。小学5〜6年生で英語必修化。
体育	「武道」（柔道・剣道・相撲など）の必修化。
その他	「〜は扱わないものとする」のような「はどめ規定」の撤廃。

今回の新学習指導要領は小中学校全面実施を行うのは、小学校では3年後の平成23年度から、中学校では4年後の平成24年度からとなります。その完全実施に向けて、来年平成21年度から先行実施を行います。

先行学習は理数教科で特に強調されています。補助教材などを使いながら新学習指導要領の内容を追加して学習するとはっきり明記しています。また小5・6の英語教育も学校によっては行うことができるとしています。

学年ごとの移行措置期間、完全実施期間をまとめました。移行措置期間では先生が用意したプリントを使いながら、新教科書に向けた措置をしてくださるはずです。しかし、その対応は先生ごとに異なり、過去の例を見ても混乱が起こることは必至です。その混乱のせいで、次世代を担う児童・生徒たちが被害をこうむるようなそんな状況にしたくないと、そう強く願うのです。

新教科書での高校入試は現小3生からです。現小4〜中2は移項措置期間のあおりで中間テスト・期末テストの内容が増え、また入試問題も影響を受けることが予想されます。

今回の学習指導要領の改訂に対し、すでに「ゆとり教育」以前の内容で授業を展開していたり、今後内容を追加したりします。「塾に通っていれば指導要領の改訂の悪影響は無い！」といえる体制を作ってまいります。ご期待ください。

	H20	H21	H22	H23	H24〜
現小1	現教科書	移行措置（小2〜小3）		新教科書（小4〜）	
現小2	現教科書	移行措置（小3〜小4）		新教科書（小5〜）	
現小3	現教科書	移行措置（小4〜小5）		新教科書（小6〜）	
現小4	現教科書	移行措置（小5〜中1）			新教科書（中2）
現小5	現教科書	移行措置（小6〜中2）			新教科書（中3）
現小6	現教科書	移行措置（中1〜中3）			高校生
現中1	現教科書	移行措置（中2〜中3）		高校生	
現中2	現教科書	移行措置（中3）	高校生		
現中3	現教科書	高校生〜			

大学受験トピック

「全学部入試」とは……？

立教大学が2006年に導入し、翌2007年には明治大学、法政大学、そして今年は成蹊大学等々、様々な大学に広まりつつあるいわゆる全学部入試。「いわゆる」とつけたのは他でもありません。呼び方こそ「全学部入試」「全学部統一日程」など様々ではあっても、全体的には似たような雰囲気を醸し出しているこの入試スタイル、実は、各大学でそのシステムに結構大きな差があるのです。

1.立教大学の場合

「全学部入試」の端緒となった立教大学の「全学部日程」は、従来の入試日程では1回しかなかった志望学科の受験機会を2回に増やすということを目的に設置されたものです。募集定員としては、従来どおりの「個別学部日程」で8割、「全学部日程」で2割と、「全学部日程」はやや少なめ。そして、学部間はもちろん、同一学部でも違う学科との併願は認められておりません。しかし、立教大学を第一志望とする受験生には、入試の機会が2回に増えるだけでもメリットは十分です。

では、個別学部日程と全学部日程ではどこが違うのか。代ゼミ偏差値と実質倍率を比べてみましょう。(数値は2007年度のものです)

両者にそれほどの差異はないものの、偏差値・実質倍率ともに、全学部日程の方が難易度はやや低目という結果が出ています。これは、個別学部日程には、早慶・国立等との併願者や、他学部との併願者が出願しているのに対し、全学部日程では併願ができないため、本当にその学科を受験したい受験生のみが集まった結果と見ることもできそうです。第一志望であれば、利用する価値は大!?

学部学科	代ゼミ偏差値		実質倍率	
	個別学部	全学部	個別学部	全学部
法学部法学科	63	62	6.11	4.84
社会学部社会学科	63	63	6.76	7.4
経営学部経営学科	62	61	10.65	9.02

2.法政大学の場合

「T日程」と呼ばれるこの入試は、他学部・他学科との併願が不可という点では、立教大学の「全学部日程」と同様です。しかし、この「T日程」の趣旨は、全国10都市で地域入試を行うことで、慣れ親しんだ地元で自分の力を存分に発揮してもらうというところにあります。入試課に問い合わせたところ、現時点では、実質倍率は残念ながら未発表。そして、来年も同内容の入試を実施するかも、まだはっきりと決まってはいないとのこと。今後の動向に要注目です。

3.明治大学の場合

明治大学の「全学部統一入学試験」は、全国7箇所で地域入試を行うという点では法政大学と似ています。が、まずは次の表で代ゼミ偏差値と実質倍率をご覧ください。(数値は2007年度のものです)

目も眩むような高倍率。複数学部の併願が可能という、この「全学部統一入学試験」の最大の特徴がここに反映されています。学部によってバラつきはありますが、法学部や商学部といった人気の高い学部には特に受験生が集中したということが窺われます。どの学部の実質倍率が跳ね上がるのか、蓋を開けてみるまではわかりませんが、一度の試験で複数学部に併願可能というのは、やはり大きなメリットではないでしょうか。

なお、今年度全学部入試を導入した成蹊大学も、明治大学同様、複数学部への併願が可能です。実際に受験した生徒によると、合格最低点は非常に高かったとか……？

学部学科	代ゼミ偏差値		実質倍率	
	個別学部	全学部	個別学部	全学部
法学部法学科	61	60	4.75	22.14
商学部商学科	60	61	6.23	17.32
政治経済学部経済学科	63	63	5.81	3.35
文学部心理社会学科	61	61	5.38	12.63
理工学部機械工学科	57	58	3.71	3.75

入試制度が多様化するにつれ、かつては「一発勝負」だった大学受験も、今では何度もチャレンジできる勝負になりました。志望校がどのような入試制度を持っているのか、丹念に調べ上げ、自分にもっとも有利な受験方法を確立していってください。

夏を征するものは受験を征す。

受験生それぞれの夏

○ 小6生

実力アップの大きなチャンス！

中学受験を考えている小学生にとっては、夏休みは「休暇」ではありません。小学生だからという甘い気持ちでいると、「受験」の時、厳しい入試倍率の中で大いに悔いを残すことになります。中学入試にとっては、長期休暇こそが実力アップの重要な環です。一度習ったことをもう一度やり直しながら、少しずつ自分のレベルを上げていくということなのです。高倍率を考えるあまり、極端な勉強漬けに走るケースもありますが、あくまでも子供としての発達段階を踏まえた指導でないと、本当の意味で生徒を伸ばすことは出来ません。中学受験で、一番問題なケースは、本人をさしおいて親が熱心すぎるケースです。このケースの一番辛いところは、本人のやる気がさらにそがれていくということです。「本人にやる気がないのに、どうやって成績を上げるのか？」ということなのですが、それと同じくらい問題なのが、本人に気を遣いすぎて、本人が親の本心が分からないまま、何となく日常に流されてしまうケースです。塾の先生に導かれていつの間にか勉強してしまったというケースもあるとは思いますが、きちんと学習することの意義を説明するという親の役割を避けて通ることは出来ません。将来の進むべき道について、親も子と一緒に考えてあげることも必要なのです。夏休みは、受験生ならば皆猛勉強をします。学習の必要性を親と子が共に理解し、子供の取り組みに親が協力してあげるということが大切なことと考えます。小学生の受験勉強でまず大切なことは、受験に関わるスケジュールを優先させるという姿勢です。親が「優先」をはっきりさせている場合に子供がごねる例はまれです。1度でも受験スケジュールに遊びを優先させたりすると、子供は楽しい方が良いに決まっているので以後常に遊びを優先させることになります。夏休みにしかできない「遊び」もしてはいけないということではありません。受験勉強のスケジュールにぶつからないように遊ぶ分には全く問題がありません。

中学受験で気をつけたいのは、あれやこれや、いろいろなものに手を出すということです。何もかも、中途半端になってしまう学習は効果を生みません。決めた教材を全てやりきることが重要です。やりきった充実感を持つところから、やる気もまた育ちます。

分からないところがたくさんある生徒も、ノートをきちんと取ったり、不明だった問題に印を付け、後で質問したりしながら「やりきった充実感を」持てるように指導していきます。「受験」は最終的には、生徒が1人で問題に向かうものです。その意味では誰も助けることが出来ません。つまり受験というのは自立の度合いに大きく左右されるものということです。「やらされている」勉強からいつ脱皮するのか？やらされているうちは、勉強に喜びを感じることはまずないでしょう。夏のがんばりが、自立への一歩を作ります。

○ 中3生

学習に目覚めることで「受験勉強スタイル」の確立を！

多くの中学生は夏まで勉強と部活を両立しなければなりませんでした。苦しい両立の生活ももうすぐ終わり。さみしいけれども（そうでない人もいるかな？）6月末から7月にかけて部活の引退です。まさに「勉強のみ」に集中できる環境と時間が手に入ります。

これを読んでいるあなたがこのようなタイプならば、「ヤバイ！受験勉強どうしよう！不安だよ～」なんて気持ちの人が多いことでしょう。「夏」という集中的に学習できるチャンスを使い、受験の準備を急ピッチでしなければなりません。

「受験の準備」とは何でしょう。下の3つにまとめてみました。

受験の準備①	入試必須単元を集中的に学習し、得点力をつけること
受験の準備②	自分の苦手を意識し、それを克服する勉強をすること
受験の準備③	長時間勉強に慣れること

①はどんな受験生もがやらなくてはならないことです。国語ならば論説文・小説文・古文などの読解や文法・漢字などの言語要素、数学ならば計算・図形・関数などの入試頻出単元、英語ならば文法の網羅的・系統的学習と語彙力アップ、理社は中1～中3の一学期までの内容の総復習。時間のある夏だから、これらを欠かさずやることで、得点力がつき、2学期以降の過去問演習などに耐えうる実力が養成できるのです。

①のような網羅的な学習は絶対に必要なのですが、②のような不安・悩みも少なからず1人1人が抱えています。時間のある夏だからこそ、不得意克服のきっかけを作りたいものです。

このようについつい学習の中身だけに目が行きがちですが、③のように「集中力を養う」「根気をつける」というのも夏の学習の目的として忘れてはなりません。中学3年生は「驚異的」な量の勉強をしてほしいと思います。始めはこの長時間勉強が苦痛なのですが、その苦痛を乗り越えたとき、大きな「オマケ」が2学期についてきます。この夏の長時間勉強で実力が飛躍するのはもちろんなのですが、それ以上に2学期以降、さらに一層集中して勉強に向かえるようになります。そのことがさらなる実力アップをもたらし、第1志望校合格へぐっと近づくきっかけとなるのです。

夏に適切な内容を集中学習することで「学習法」に目覚め、「学習スタイル」が確立します。得点力をつけ、苦手を克服し、集中力を磨く。塾での夏期講習・合宿・短期集中特訓など、すべての授業・行事・イベントにこの3つの要素をすべて盛り込んでいます。中学3年生の皆さん、かけがえのない貴重な夏を一緒に作っていきましょう！

○ 私立中学生・国公立中高一貫校中学生

勉強する夏か、勉強もする夏か

一貫校中学生にとって、この夏をどう位置づけ、どういう夏にするか。勉強の側面のみ考えるとすると、「分岐の夏」と言えます。自由になる時間が多くなる分、多分に試されてしまうのです。それぞれが置かれている位置にも留意しながら、どういう夏にすればよいのか、ぜひ考えてみたいところです。

「学校の成績に満足か、それとも不満足か」、この夏は学校の成績をとることを考える夏にしたいと思います。

■学習習慣を立て直すことが必要な場合

学校の成績で、もし君がワースト20%に入っている場合は、いわゆる「緊急事態」です。毎日の学習時間はもとより、試験直前も充分な集中した学習時間がとれぬまま、試験に臨まざるを得なかったのかもしれません。

この場合の夏は「毎日一定時間勉強できる時間と空間の確保」が一義的です。

■定期テストの勉強法が未確立な場合

日常的な、あるいは直前の集中した形での「定期テスト勉強法」が不明な場合は、とにかく「マイプラン」が立てられるような夏にすることが大切ですが、それは休み明け課題テスト等至近のテストに照準を合わせて、計画立った夏にすべきでしょう。この場合も「勉強せざるを得ない時間と空間」を確保することが、結果としての「決意倒れ」を防ぐ最大の保証です。

■不得意単元がある場合

当然、それをピンポイントで学習しましょう。この場合も時間と空間を確保することが必要です。

■基本的、根元的な問題が不理解な場合

これは、一定の学習時間を覚悟せざるを得ません。40日間のうち少なくとも、1日3時間×15日くらいのスパンで克服することを考えましょう。これは、学校教材の各学年始めの1～3章をマスターするくらいの量になります。「なーんだ、そうだったのか」の領域を広げる勉強をしていくことになります。

中学3年生は、加えて高校入試レベルの応用問題レベルの演習も必要です。

＜得点力=集中力×時間×k＞という形で因数分解すれば、このk（経験、応用力、学習能力etc.）の値を大きくする学習が、特に中3生にふさわしいと思われます。すなわち、学習能力を高める夏になってほしいと思うのです。大学入試を考える時、高校入試レベルの錬成が意外な盲点となる場合も多く、一貫校の生徒はよほど意識して取り組まない限り、「触れない分野」になってしまう可能性もあります。

ぜひ、高校入試の応用力レベルを体験する夏になってほしいと思います。

○ 高3生

夏ー熱い想いを冷酷な5文字に変えないためにー

あなたは、高校入試、定期テスト、各種検定などさまざまな試験を受けてきたと思います。そして、もう間もなく大学入試が始まります。しかし、この入試はあなたがかつて経験したどの試験よりも、厳しいということを改めて自覚してください。あなたが今まで登ってきた山も辛かったと思いますが、それは夏山です。大学入試は、嵐が吹き荒び遭難者が相次ぐ本格的な冬の山だと思ってください。

実際に、高校受験での遭難者（浪人）と比べると、実に約57倍の生徒が大学受験に失敗して浪人を余儀なくされています。別の例を挙げれば、中学校で学ぶ単語数は約700語に過ぎませんが、難関大学合格に必要な単語数は約7000語だと言われています。

この冬の山を甘く見ないでください。この入試を甘く見て失敗した先輩の残した言葉をひとつひとつかみ締めながらあなたにお話ししています。最近は、合格発表をインターネットで見る生徒が増えています。1年間、熱い想いを抱き続けた第1志望校からの評価が

「不合格です」

という実に冷酷な5文字だったとしたらいかがですか？あなたは、その5文字を一生背負い続けなくてはなりません。最終学歴は、最終学歴なのです。

そうならないためには？簡単なことです。夏休みに最低「400時間」勉強しましょう。授業を受ける時間も含めて400時間の勉強が、あなたを大きく飛躍させます。（ちなみに、夏期合宿に参加すると自動的に50時間の学習時間が確保されます）

夏休みまでに基礎を終えた生徒は、勉強が楽しくなってきます。応用問題から入試問題演習に入って行きましょう。主に、夏の前半で応用問題を解いて基礎を確認しつつ発展させ、後半では希望校レベルの入試問題を解いていけばいいでしょう。

しかし、部活動の関係等で基礎が終わらないまま夏に突入してしまう生徒がいます。はっきり言います。つぎのようにしなければ、もう間に合いません。

まず、夏休みを前半と後半に分けてください。ゆめゆめ40日あると思わないでください。そして、前半の時間を基礎作りに費やしてください。英単語や古典文法、数学なら基本的な解法の暗記など基礎はとてもつらくて地味な勉強です。でも、思い出してください。どんなスポーツでもいきなり試合に出れば、大怪我をしてしまいます。前半、つまり8月10日までは、もう死んだとでも思ってわき目もふらず基礎を固めてください。そうすれば、夏期合宿に来るころ、勉強が面白くなってきます。今は信じられないかもしれませんが、基礎を固めれば、あなたは現代文が、英語長文が読みたくてたまらなくなるのです。数学が解きたくてたまらなくなるのです。

それでは、夏休みの成功を祈っています。絶対に成功させてください。信じていますよ！

（大学受験部　加藤）

心を決める夏 -合宿生徒作文-

○小6受験夏期合宿
夏期合宿を振り返って M.F.

今回の合宿は、私にとって初めての合宿でした。夏期講習が始まり、朝8時から夜9時まで、13時間塾にいて、つかれたなあと思う時もありました。しかし、朝8時から夜9時まで勉強すると、その分普通の授業の時よりも身に付く力が大きかったです。夏期合宿では、朝6時から夜11時30分までの17時間30分勉強して、夏期講習の授業の時より、ずっと力がつきました。

私がこの4泊5日の中で一番楽しかったことは、不得意特訓サバイバルです。私は、2回目で落ちてしまいましたが、絶対復活したいと思い、最後のテストの時に大広間に戻りました。合同特訓の時にもやったので、最後のテストは難しいと分かっていましたが、今回は、全て過去問題だったのでやはり合同特訓よりも難しかったです。しかし、自分が持っている力は精一杯出そうと思い、出来そうな問題から解いていきました。それでも、あっという間に時間は過ぎていき、ほとんど問題が解けないまま終了になってしまいました。解けなくて、とばしてしまった問題も何問かあったので、もう一度その問題をじっくり解いてみたいです。

二番目に楽しかったことは、森林浴タイムトライアルです。みんなで力を合わせて問題を解いていきました。90分以内にゴールをしなくてはいけなかったので、解けない問題があるととてもあせりました。しかし、算数が得意な子、国語が得意な子、理科が得意な子、社会が得意な子がそれぞれいて、一人でも欠けると解けなかった問題がたくさんあるだろうなと思いました。私の部屋の子は、初めて会った時からとても仲が良かったので、とても楽しく出来ました。

私はこの合宿で、今まで分からなかったことが分かるようになりました。そして、たくさんの友達が出来ました。この合宿で学んだことをこれからの勉強に生かしたいです。

○高校受験部
悔しさをバネにして M.T.

「えッまだやるの？」。これが合宿一日目の正直な感想であった。次から次にテスト、授業、そしてまたテストと、フリーズしてしまいそうなスケジュールであった。その時私は実感した。「普段の夏期講習でもヒーヒー言ってたのがバカみたい。」そう感じるほどに、この合宿は今までの自分への甘さを実感させてくれた。

「勉強って要領良くやらないと駄目なんだな。」。これが二日目の感想。夜のトレーニングルームの時に泣きたくなるほど感じた。宿題が終わらないのを悔しく感じたのは初めてだった。

この頃からだろうか、何か自分の中で、受験勉強に対しての意識が変わり始めていた。

私のチームの担当の先生が言った「勉強をやらされていると思ってはいけない。」という言葉。以前にもよく耳にしていたことだけれど、この時初めてドキッとした。私は「やらされている勉強」をしていたのだ。塾の先生にあれをしろ、これをしろと言われ、その度に「面倒くさいな」と思っていた私に反省した。「受験は自分のためにあるんだ」という意識を高めてくれた、というのが、この合宿で得られたことの一つである。

そして私の中の合宿の大きなウェイトを占めていたのは英数のレベル別特訓である。自分の中の得意科目である英語は、「常にCクラスにいたい！」というのが、密かな目標であった。この目標は、ほぼ達成できた。しかし数学は、とても微妙であった。四日間でA、B、Cクラスを行ったり来たりしていた。Aクラスになってしまうと「しょうがないよ」と言いつつも、悔しさも同時に感じていた。この勉強が出来ないことに悔しく思うのも、合宿で学んだ大きなことである。この「悔しい」という気持ちを「もっと勉強しなきゃ」につなげるように、これからの約半年、頑張っていきたい。

○中3短期集中特訓
集中特訓 S.K.

最初はとても不安でした。初日、同じチームに仲の良い女の子がいませんでした。瑞江教室も3人だけ。人見知りしやすい私は、5日間やっていけるか本当に不安になりました。英数のレベル別特訓でも、他の教室のレベルの高さにたいへん驚きました。数学が苦手な私は周りについていけるか、またまた不安になりました。

初日は不安ばかりの一日だったので、二日目は塾に行くのが嫌でした。それから私は、前向きに考えることにしました。数学ができないから教えてもらいに来ている、友達なんてすぐに出来る、と。そのおかげか二日目はだいぶ気持ちが楽になりました。

数学では主に関数を勉強しました。私は教えてもらいながら問題に集中しました。自分で解いた問題が正解していると達成感と嬉しさが残りました。今回、勉強して一番のびたと思うのは英語です。あやふやだった関係代名詞がきちんとわかるようになりました。これから、復習を重ね応用問題も解けるようになりたいです。

最初は不安で嫌だった集中特訓も慣れると楽しくなりました。わからなかった勉強や分野ができるようになったのは先生方、そして一緒に頑張った友達のおかげです。思うように勉強ができなかったり悩んだりしたら、この五日間を思い出してやる気を出したいと思います。この五日間を役に立たせて、感じたことを忘れないでまた勉強を頑張りたいです。

○大学受験部
心を決めた合宿 R.T.

長かった様な、短かった様な、そんな合宿が終わりました。

僕はこの合宿を通して一つ決心したことがあります。それは絶対に第1志望校をあきらめない、学校の先生や友達に何と言われても、ただひたすらに勉強し、第1志望校を目指す、という決心です。僕は今まで、高望みだとか身分不相応だとか思って、第1志望校の名前を言う時は、いつももじもじしたり恥ずかしがったりしていました。でもこの合宿はそんな僕を叱咤激励してくれ、まだ完全に払拭できたかは分かりませんが、「そんなことはない。お前だってやればできる。だからがんばれ。それでもし、まだ恥ずかしいなら、勉強しろ、勉強して勉強して目から血がふきだす位勉強して、堂々と『先生、僕はここが第一志望です』と言えるくらい努力しろ！」と教えてくれました。

この五日間の合宿は「本当来てよかった。また来年は来たくないけど、また来たい。」そんな合宿でした。

最後に、4泊5日という長い合宿に来て僕ら以上にがんばって、睡眠時間もほとんどない中、一生懸命教えてくれた先生方、本当にありがとうございました！目標の大学に向け、これから先生方のがんばりに答えられる様に目から血が吹き出す位がんばります。本当にありがとうございました!!
絶対早稲田に入るぞ!!!

○公立中高一貫校受検夏期合宿
公立中高一貫校受検合宿の思い出 Y.K.

私のいる大山教室からは、一貫コースの人が私しかいません。始めは、友達が出来るかとても心配でした。でも、部屋にいったら話しかけてくれたので、あっという間に友達になりました。

一日目のスターティングテストでは個人でも班でも一位になりました。夏期合宿初めてのテスト、一位になれて本当にうれしかったです。

二日目の飯ごう炊爨では、二位になりました。思いがけず、二位だったのでビックリしました。

テーブルマッチでは二位でした。はじめの10枚が終わった時、私はけっこうおそく上位はもうむりかとあきらめかけていました。でもどんどん追い上げていき、最後は二位になれました。私に計算力がもっとあれば、はじめの10枚も早く終わり一位もねらえたので、計算力をつけるという課題も見つかりました。

そして三日目、ネイチャーウォッチングをしました。私の班は四番目にスタートしました。リフトをおりた所で問題をといている時に、五番目の班にぬかされてしまいました。負けてはいられないので、みんなと協力していろいろな問題をとき、ぬかしかえしました。その後も一生けん命してやっとリフトの所まで戻ってきました。帰りのリフトでも、残りの問題をときました。そしてゴール地点にやっと到着しました。タイムは一時間四分でした。もうダメかなぁと私は思いました。でもタイム一位、総合得点も一位で優勝しました。つかれたけど、やったかいがありました。

最後の大きなイベントの算数不得意特訓サバイバルでは、みんながおちてゆく中、私もいつおちるのかハラハラしていました。でも最後まで残れて三位になりました。なれた時、私はうれしくて友達といっしょにとびはねてしまいました。上位にこんなに入れるとは思わなかったので感げきしました。

この合宿に行って、とても楽しい思い出がつくれ、自信もつきました。本当に行って良かったです。これから課題をとりくんでいきたいです。

野次馬おじさんの体験レポート

ドキュメント2007夏の志賀高原

8月17日、都会の蒸し暑さが嘘のように、ここ志賀高原はさわやかな風が心地よい。夏と言うより、秋を感じるのは、すでにアキアカネが飛んでいるというだけの理由ではあるまい。とにかく涼しいのだ。教師を含め、758名がこの日を開始日に、3泊4日または4泊5日の合宿に入る。ほとんど勉強だけというこの合宿で、実際どんなことが行われてるのか、持続力や集中力が乏しくなったと言われる現代っ子が、果たしてこの合宿で最後まで全うできるのか、興味津々でこの合宿を覗いてみる。

小5『森のスクール』3泊4日

開会式の後、生徒たちは担当の先生に導かれながら「チームミーティング」「ルームミーティング」を実施する。「私は○○教室の□□です。」という各自の自己紹介から始まって、この合宿での獲得目標が一人一人から発表される。なんでも茗渓塾の合宿はすべて、個人への表彰のほかに、チームとして最も成績が飛躍したところに贈られる『最優秀チーム賞』というのがあり、この賞のステータスが最も高いとか。チームリーダーの先生たちはこの賞をねらっていて、その意気込みは強い。曰く「一人一人全員の成績と学習の質を上げるように我々も頑張る。」各ルームでの係分担を子供たちが自主的に決め、合宿の自治の一端を担う。このルームを単位に朝の点呼、ラジオ体操、屋外学習イベント等が運営されるという。ルーム長、副ルーム長や必要だと思われる係を出し合い、全員が担う形式だ。「ラジオ体操係」「お風呂係」「起こし係」はその名前通りの仕事だろう。おもしろいのは「スリッパ係」。各ルームや教室に行ったときにホテルから借りて履いているスリッパを整理整頓するそうな。

1時間という制限された時間の中で、「チームミーティング」「ルームミーティング」。テキパキ決まっていくこの流れは「へーっ現代っ子もなかなかやるじゃん」という印象。スターティングテストはこれぞ「塾の合宿」。一人一人の到達点と弱点把握がねらいらしい。

テスト終了後第一の課題は『体得講座』。

『速さ』。小5生秋に学習する単元。これを課題に『理系の勉強法体得講座』が始まる。「導入」「概念確認把握のためのドリル」「例題」「演習」と授業が流れていき、あっという間の60分。

休憩時間ではホテルが用意してくれたミネラルたっぷりの麦茶。みんなおいしそう。一杯、飲んでみた。香ばしい焼き麦の香りが渇いたのどに嬉しい。

9月以降学習する『歴史』、特に近代統一国家の萌芽というべき「安土桃山時代」以降を題材にした「文系の勉強法体得講座』が始まる。まず予習タイム。マンガ「日本の歴史」の該当箇所を読み、イメージを持つのだという。次にノートを取りながらの「概説」。サブノートで知識を「チェック&整理」。「問題演習」でまだ整理され切れていない箇所を自ら発見するという。

バイキング形式の楽しいおいしい夕食に生徒たちはすこぶる楽しそう。ルームごとのテーブルには先生がそこかしこに座っていて一緒に食事をしている。メモをとっている教師がいた。覗くと名簿に◎○△がついている。×もあるそうだが、一人一人の生徒の食欲までチェックしている。食欲のない子や食べられない子は便秘等、必ず「何か」があるという。

食後は「各自の課題」。日常での家庭学習を想定している。生徒の質問にはすぐに答えるのではなく、今日学習した箇所の例題等、ノートを見直すことを促している。中にはノートの自分の字が読めないほど乱雑に書いてある生徒もいて「これなんていう字?」。教師も困っていた。すかさずルームメイトのきれいなノートをちょこっと貸してもらいそれを見る。「へえーこのノートちょうつええ(超強い=とてもきれい)」。

1時間半ほどの「家庭学習」の後、ルームごとに屋外へ。『星空観察』『天体観察』だそうだ。「北極星を探せ!」教師の大きな声が山間に響く。カシオペヤ座は山に隠れて見つけづらかったが、北斗七星が北西の空高い位置にしっかりとあり、これを手がかりに北極星を探す。「北極星ってけっこう暗いんだね」「2等星だからね」。やはり天体の中で不動の位置を占める北極星には強くしっかりと光っていてもらいたい、そんな願望の表れか。天頂近くにはくちょう座。「夏の大三角って二等辺三角形、冬の大三角は正三角形なのに」。南に開けた箇所ではさそり座のアンタレスが不気味に赤い。「俺天の川って見たの初めて」。都会近くでは1等星がやっと見える程度の現代っ子の星空。その都会っ子の目が1等星以上に輝いている。

ホテルに帰り、「家庭学習」の続き。チーム単位に交代で入浴。1日の最後はルームミーティングでの反省会。各自の「しおり」に学習内容や感じたことを記入。部屋の中でかなり騒いでいたルームもあったようだが、担当教師がルームの中に入り「目をつぶって15分」と一緒に横になっていたらすぐに寝息に満たされた。余談だが、3日目の夜、ある教師が「寝かしつけ」に入ったままそこで寝てしまい、「行方不明!」とちょっとした騒ぎになったという。

2日目の朝は午前7時の館内放送でスタートした。布団を上げ、身支度をして7時半からのラジオ体操に。眠くだるそうだった生徒も、ちょっと小太りの教師の面白いラジオ体操の掛け声に和むうち、またホテル前の水芭蕉がまだ咲いている「ダイヤモンド湿原」を散歩しているうちにしゃきっとしてきたようだ。(後略)

小6受験クラス『夏期合宿』4泊5日

(前略)合宿2日目。朝食の後の『早朝テスト』は、志賀高原合宿のすべての単位で行われているという。前日のスターティングテストの順位表が貼り出され、各自の位置を確かめられた後だけに気合いが入ってる。前日やった箇所の復習テストになっているらしい。

午前中は『授業』。入試重要単元を「志望校ランク別」に難易度が違う授業。どの教室からも緊迫した雰囲気が伝わってくると同時に、時々いっせいに笑い声が起こる。合宿でも「楽しくなければ塾じゃない」ってか。授業の冒頭、「トイレに行っていないやつはこの授業の合間にいけ。今朝出さないと詰まっちゃって体調崩すから。今日だけは出せ」だって! 「先生汚ねえ」などと言いながらも気軽にトイレに立てる雰囲気だ。「合宿2日目の排泄が体調を崩すかどうかの分岐点になる」(小6受験合宿責任者　長谷)のだそうで、「授業中ならトイレもすいているから気軽にできる」(同前)と、特に午前中までに全員ウンチをしてもらうことに苦心しているようだ。

午後の冒頭は国語の「不得意特訓サバイバル』。知識問題をいくつかのジャンルに分け、チェックテスト。そこでふるいにかけられこの分野が超不得意な生徒を担当教師が別室で特訓。原理原則の理解と徹底した問題演習。「得意」までにはならないけどかなりの生徒がとっかかりをつかんだようだ。これを合計7回繰り返す。最後まで「生き残り」をかけて集中して取り組むから「サバイバル」なのだと合点した。昨日の「スターティングテスト」や今朝の「早朝テスト」にも増してすごい集中力。人間生き残れるかどうかという段になると相当必死になれる?

午後の2つ目の学習イベントは、『算数テーブルマッチ』。各合宿の予定表を見ると、出発日と到着日を除くいわゆる「中日」は、早朝テストの後、午前は授業、午後に学習イベント、夜はトレーニングルームという個別学習の3パターンでほぼ統一されている。この算数(数学)のテーブルマッチは茗渓塾すべての合宿で行われている。1枚のプリントにほぼ1題、1枚が解き終わると挙手し、○×をつけてもらう。○の時は次に進み、×の時はやり直す。わからない問題ではチョキを出し、先生にヒントをもらう。最初の10枚が終了すると別室でさらに5枚。次の5枚。30枚前後までくるとスタート教室に戻り一題解くごとにテーブルを移動していく。「初めて合宿をやったのは那須高原でした。人数も30人くらいで少なかったので、大きな部屋のテーブルを移動しながら進めていったので、この『テーブルマッチ』という名前が残っているのです」(塾長　宇野)。「『段階別単問突破方式』というこの学習形態が、生徒の集中力を養うのに非常に効果がある」(同前)。テーブルマッチに参加している生徒たちのこの表情、筆者はどこかでかつて見た。そう、筆者が私立高校の教師をしていた時の入学試験での生徒たちの表情だ。全体がピリッとした中に、あるものは一心不乱に答案に向かい、あるものは難しい問題に立ち往生、あるものはなんだか気世話に焦っている。そんな雰囲気の中でこの子供たちは「心も鍛えているのかもしれない」とふと感じた。(後略)

小6公立一貫校受検生合宿3泊4日

（前略）3日目の午後の学習イベントは『森林浴タイムトライアル』。この屋外の学習イベントもすべての合宿で行われる。場所と内容がそれぞれかなり独自なもので、そのタイトルだけ見ても、小5『金剛石を探せ』、小6『光ゴケの伝説』、中1『その木を探せ』、中2『忘却の俳人』、中3『ファイナルファンタジー』、高2･3『田野原湿原フィーリングトライアル』等々、なんかおもしろそう。共通して、「ルーム単位で競う野外オリエンテーション問題付き」というところか。指示書に従って野外のコースを歩きながら、ポイントごとに問題がありそれを全員で解いたり、短歌や俳句を作ったり、中には「イワナを探してスケッチせよ」なんてのもあって、志賀高原の豊かな自然を満喫できるし、注意深く観察できるようになっている。問題解答の正確さと予め決められたタイム通りにつけるかどうかで競争する。中でもこの公立一貫校の受検を目指す生徒たちの指示書は他と明らかに一線を画している。とにかく記述問題が多いのだ。「この看板に□□という表現があるが、なぜか」など。彼らの入試問題が「自ら考え、それを表現する」ことに重点が置かれていることからくる当然のことかもしれない。2008年度はさらにその内容を発展させたいと担当者の意欲は強い。聞けば毎年の合宿の下見はこの「森林浴」のコース設定、指示書作成、コースの安全確認にその大半を費やしているという。「せっかく志賀高原でやるのだから」（高校受験部責任者　小室）だそうで、それぞれかなり練られているし、小5から高3まで、毎年違うコースを辿れるよう工夫されているという。脱帽。（後略）

中1『定期テスト勉強法体得合宿』3泊4日

（前略）中1のこの合宿は、その学習内容がすべて未習単元で構成されているところに特徴がありそう。英語は助動詞、数学は連立方程式、国語は古文単語、理科は天気、社会は歴史。新しい単元学習を学校の授業に見立てて予習･授業･整理･問題演習での定着。日常の学習を家庭学習まで含めて体験し、その方法を獲得するのがねらいとか。最終日はその名も「志賀高原中間テスト」。（後略）

追伸　この合宿はこの年が第1回目。この合宿に参加した30名の中で7人が、学年末評価で5教科オール5。それなりの手応えがあったようだ。

中2『夏期合宿』4泊5日

（前略）合宿2日目の夜は『その日学習体得講座』が実施された。茗渓塾出身の講師からの具体的アドバイス。チェック表にも記入し、自分が不足しているところを発見できるようになっている。合宿初日の夜は「とにかくその日学習」を今まで通りの各自の方法でやっていた。今日はそれを体系化した方法論が教科別に具体的に示された。5教科それぞれの教科ごとに違う。おもしろかったのは、国語の記号問題の直し方。「○○という理由でアを選んだが、□□という理由で正解はエ」。この直し方が定着すれば確かに記号問題で「適当に」とか、「なんとなく」とかいう安易な形で選択肢を選ばなくなるだろう。（中略）3日目の夜は高校入試オリエンテーション。これは辛辣な企画だ。茗渓塾卒業の学生を10人ほど前に並べ、一人一人の高校受験体験を赤裸々に明らかにしていく。10人もいればすべてが成功者とは限らない。かなり辛い体験をした人もいる。「ここまで聞くか?」と思えるほどつっこんだ質問（詰問?）を司会が浴びせる。それに真摯に答えようとする茗渓塾卒業の学生。その真剣なやりとりの中で見えてきた、失敗と成功の分岐がどこにあるのかが。一人一人の経験を掘り下げて明らかになるに従い見えてくる。それは……。ここで言うより各自がつかみ取ってほしい、人から聞いたからハイそうですかとはならないし、反抗期真っ盛りの彼らには単なる押しつけに思えるだろう。（後略）

中3『夏期合宿』4泊5日

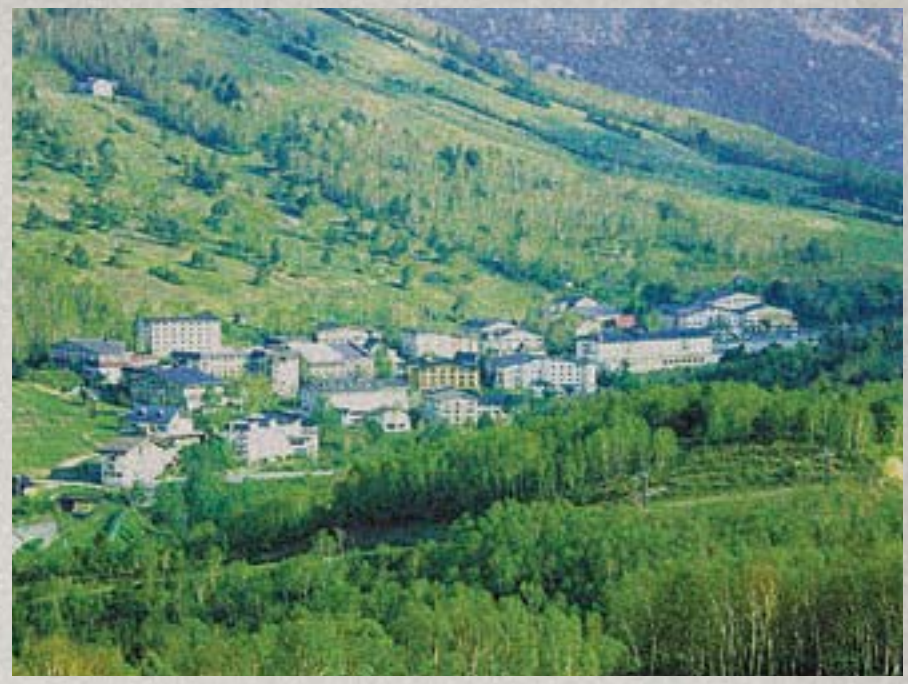
（前略）中2の時の合同特訓、夏期合宿等、3年生にもなるとお互いに顔見知りが多いようだ。合宿初日からうち解けて競い合う。他の合宿には見られなかった光景と雰囲気だ。それに輪をかけた先生たちのパフォーマンス。若い教師のほとんどが茗渓塾出身者で占められているのは偶然か?口々に「ウィンウィン」という言葉がほとばしる。「受験における人間関係も、一般の人間関係も勝ち負けではなくともに勝つ」。彼ら自身がそのウィンウィンの環境下で受験を突破してきているだけに、稚拙な話し方の割には妙に説得力がある。「仲間がいたから突破できる」。この合宿に随伴して十数回は聞いた台詞だ。自分たちの教室の、自分たちのチームの誰彼かが表彰されると「すご〜い!」と自分のことのように喜んでくれる。テーブルマッチで教師たちはお揃いのTシャツを着ていた。それもかけ声を揃えて走りながら入場した。生徒たちはすでにその教師たちの気持ちを受け止めていた。「自分たちを盛り上げようとしてくれているのだ」と。最後部から一人恥ずかしそうに行進している宇野塾長の姿に涙が出そうになったのは、私だけではなかった。一部女生徒もたしかに泣いていた。（後略）

追伸　2008年度入試での茗渓塾の合格実績を見た。前年に比してもかなり成績がいい。受験を孤独な戦いという側面でしかとらえていなかった筆者は何か新しい希望を感じた。「仲間がいたからがんばれた」。彼らもまたそういう実感を持って高校生になっていくのだろう。なんかうれしい。

高1『大学受験オリエンテーション合宿』3泊4日

（前略）この合宿のねらいは「大学受験を高1から意識させることにある」（大学受験部責任者　加藤）そうだ。「早すぎるのでは?」の筆者の率直な疑問に対して「実は多くの高校で高2･高3での選択教科希望票を高1の3学期に提出しなければならないのです。そのためには遅くとも高1の冬休みまでに志望学部だけは最低限決めておかなければならないのです。学部によって試験教科が自ずと違ってきますから」（同前）という事情らしい。合宿初日の夜、現役大学生8人が入れ替わり高1生の前に立ち、『大学生活オリエンテーション』が始まった。大学では「どんなスケジュールで勉強しているのか?」「どんな形態での勉強があるのか?」「卒業後の進路は?」「習い事や他の専門学校へ通っているか?」「サークルは?」「通学方法は?」「学費は?」「大学での昼食は?学内の食堂はうまいか?どんなものをどのくらいの値段で食べられるの?」果ては「彼女はいるか?いつデートしているのか?」「大学生になって気持ちの上で一番変わったことは何?」等々、司会者のまるで芸能レポーター然としているつっこんだ質問にも真摯に答えてくれる大学生。大学も学部も学科も異なる現役大学生が8人。自ずと大学の雰囲気、学部の違いによる生活リズムの違い等が見えてくる。「高校1年生にとって大学を実感できた企画」になったようだ。それにしても合宿のすべてにわたって見てきていると、それぞれに内容が違い、その企画一つ一つがかなりの背景と経験に裏付けられていることを感じる。翌日、合宿2日目の夜は『大学受験入門講座』。これは大学受験の受験知識を正面から説明するもので、パワーポイントを使った説明は非常にわかりやすかった。門外漢でもあり、大学受験から久しく遠ざかっている筆者には、現在の大学受験の状況やしくみがわかっておもしろかった。特に説明者が私を意識してくれたのか、「きみたちの父さん、母さんの時とここは同じでここはちがう」という説明は、私と同世代で「大学受験?　そんなん知らん!」とこの分野で我が子にもの言うことを避けている親たちに、ぜひ聞かせてあげたいと感じた。（後略）

高2·高3『夏期合宿』4泊5日



（前略）かつて「四当五落」（4時間睡眠では合格するが5時間睡眠では不合格になる）と言われていた大学受験。これと比較すると、遅くとも2時には寝て、午前7時起床というのは、5時間睡眠となり、合宿という特別に限られた機会であることを考えると少し甘いんじゃないか、こんな意地悪い質問をあえてしてみた。答は筆者にとって意外なものであった。「この合宿でのねらいの一つは、この合宿を起点に今後の受験勉強のスタイルを確立することにあります。この合宿以降もこのタイムスケジュールをベースに考えてほしい、ということです。うちの塾には『7−2』という言葉があります。これは午前7時に起きて、夜中の2時まで勉強する、ということなのですが、ポイントは「朝7時に起きる」という点です。どんなに遅くまで勉強したとしても、朝は朝で起きよう、高校での授業や生活もきっちりしよう、ということなのです。朝しっかり起きる、起きられることなくして、自覚的自律的な学習にはならない、失敗することが多い。そんな経験則からきています。合宿ではそれを体験し、1日14·5時間くらいの勉強はできるんだ、ということを肌で感じてもらいたいのです」（同前　加藤）とのことです。個人差があり、そこまではできないという生徒や、合宿という管理された中だからできる、そこから離れたら無理なんじゃないかと……。「当然そういうこともあるでしょう。しかし、だからこそ合宿だとなぜできるのか、それは家庭ではできないのかという問題を考え、日常の生活を合宿と同じようにできないかを探ってもらっています。先ほどの『7−2』という言葉は、実は合宿に参加した生徒からもらった言葉です。現役で千葉大工学部に合格したその生徒が受験後の体験談として語ってくれた内容そのものなんです。その生徒が語った言葉をさらに引用してみます。合宿では時間とともに学習空間が移動していきます。午前中の『授業』、午後の『学習イベント』、夜の各自の課題をこなす『トレーニングルーム』、そしてトレーニングルームの間に入る各種の特別講座や入浴、夕食、夜中の軽食も。この学習空間が移動するということが、集中力を維持し、長時間勉強する上では鍵だと。もう一つの言葉、これは別の生徒の体験談からのものですが、『7−10（なっとう）』とか『7−11（セブンイレブン）』と言われているものがあります。これは夜の7時から10時ないし11時までは塾にいる、ということを意味しています。すなわち16時くらいまでは学校、そのあと学校や地域の図書館、この時間から塾の自習ルームを利用したり、自宅で学習、あるいはあまり薦められませんけど『マクドナルド』っていう生徒もいました。夕食をとって塾の授業または自習ルームで10時ないし11時まで。それから帰宅し、午前2時までの自宅での勉強。移動する空間を持つと不思議と気分転換ができるし、課題をそれまでに終わらせるという目安も出てきます」（同前）。さらに驚いたことは合宿では散歩や体操など一定の運動を全員に課している。この点でも「一定時間の運動と睡眠時間との間には負の相関関係がある、というデータがあります。すなわち一定時間の運動は体を疲れさせ、そのことによって熟睡でき、結果として睡眠時間が少なくても大丈夫だと。自分は睡眠時間が長くないとダメ、と言っていた生徒もこの『運動効果』に目覚め、以降この生活スタイルを持続させていく生徒が多い」（同前）のだそうだ。ここまでの経験に裏付けられていたのだ。（後略）。

マイプラン型高原学習

この塾の合宿には他と一線を画す特殊な合宿があった。『マイプラン型高原学習』と名付けられた合宿である。合宿＝集団というイメージしかない筆者には極めて特異なものとして映った。（中略）以上のように、早朝テスト、午前の学習、午後の学習、または学習イベントへの参加、夜の課題確認をしての『トレーニングルーム』等、生活リズムだけは他の合宿とかわりない。また、条件と有効性の確認、本人の希望があれば、他の合宿の学習イベントに参加できることもわかった。参加した生徒のうち、何人かに休憩時間を利用してインタビューしてみた。驚いた。千差万別とはこのことか。その要約は以下の通り。

＜小4男＞

「今年の夏休みから茗渓塾の受験クラスに入塾した。算数が難しく、習ってなかったのも結構あるので、親と先生が相談して、やっていない算数のところを全部この合宿でやってしまおうと。『計算一行問題集』4年上をすべて終わらせたい」（初日夜はホームシックから泣いて『帰りたい』と言っていたという。明日の夕方まで頑張ればお母さんに電話してあげるからとなだめられ、その時までは頑張ったという。そして頑張ったその時には、すでに『帰りたい』とは言わなくなったと。あと1日。頑張って終わらせようと筆者も声をかけずにはいられなかった）

＜小4女子＞

「お姉ちゃんが6年生の合宿に参加していてお姉ちゃんだけずるい!とお母さんにお願いした。『eトレ』で算数中心の受験レベルの計画表を先生が作ってくれたのでそれをやっている。毎日夜に見た星空観察、天体観察がとても楽しい。今日も見られるかなあ?昨日火星が見えたらしいんだけど、まだ見つけていない。」（すごく活発な女の子。勉強する時はする、遊ぶ時は徹底して遊んでいる。でも今晩は雨だよ。ごめんね。心の中で天に代わって謝ってしまった）

＜中2男子 私立中に通う＞

「夏休みは学校の宿題のことを考えると気が重かった。だからこの合宿だけで英語·数学·国語の夏休みの宿題は全部終わらせたい。ここで終わらせると決めたらすごく楽な感じになった」（ハイレベル私立の男子進学校に通う彼。宿題は英数国各30ページくらいずつある小冊子。明日の午前中で終わる見通しとか）

＜中3男子 私立中に通う＞

「姉は小6から、僕は小5から、毎年志賀高原に来ている。母親がここに姉弟とも毎回来させたがるのは、僕らが志賀高原に来ている時だけが母親にとって唯一羽が伸ばせる時だって」（そんなことがあるわけない、と日頃2人を担任している教師に直接聞いたら、もちろん勉強もしてもらいたいけど、その教師との面談で実際そのように母親が話していたという。そうなんだ!）

＜中3男子 私立中に通う＞

「僕の学校には中3冬休み明け締め切りの『卒論』がある。約1年かけて一つのことをテーマに研究し論文を書かなくてはいけない。ただ、長い夏休みに僕の場合はだらだらしてしまいそうで『卒論』ははかどりそうにない。志賀高原で一気に書いている」（テーマは『バイオエネルギー』。志賀高原には信州大学の植物園があり、いくつかの点で刺激を受けたという。この時点で原稿用紙26枚書いていた）

＜高1男子＞

「推薦で高校に入ってしまったこともあり、自分は学習の習慣があまりない。これじゃいけないと思ってすべて個別学習、1日13時間も個別学習ができるということで参加した。2日目の昼まではちょっと辛かったけど、体が勉強に慣れてきた感じする」（担当教師も「最初はトイレだ、水だと席を立つことが多かったけど、確かに昨日の夕方くらいから馬力が出てきました」と話している。勉強しかできない空間、勉強以外に何もすることがない空間、勉強しないと飽きてしまう空間、そんなところにいれば誰でも勉強するようになるかも）（後略）

以上茗渓塾の合宿を垣間見てきたわけだが、最終日の閉会式で泣き出す生徒の心理が少しだけわかったような気がする。懸命に頑張った時間、空間、そして仲間や教師。明日からは別の次元に行く彼らの脊梁の念なのだ。何人かの教師たちも、塾長を筆頭に、声を詰まらせて閉会式での言葉を発していた。教師たちもぎりぎりのところで頑張っていたのだ。「彼らの受験に幸いあれ」。閉会式で泣いている生徒·教師を目の当たりにしてそう祈るしかなかった。（了）

夏期合宿のご案内　茗渓塾が創る夏の集中学習

小学生

小5受験 森のスクール
「2つの勉強法の体得」と「受験勉強の基礎固め」

8月18日(月)～21日(木)　3泊4日　費用 53,550円

「知識習得のための勉強法」と「考える勉強法」の2つの勉強法を集中的に練習を積むことで習得させることが第一の目的です。不得意のない均整のとれた基礎学力を身につけるために必要な集中学習です。「予習」・「復習」や「やり直し」の方法も夏以降学習する算数のメイン単元「速さ」を中心にして習得します。

○勉強法体得講座
○自立トレーニングルーム
○段階別単問突破テーブルマッチ
○森林浴タイムトライアル「金剛石を探せ！」
○星空ウオッチング(夏の星座)
○飯ごう炊爨 カレーコンクール
○学習カウンセリング　他
※チームで対抗

小6受験夏期合宿
勉強法体得、志望校へ向けてのレベルアップ

8月18日(月)～22日(金)　4泊5日　費用 71,400円

コースは2コース／基礎力アップコース・ハイレベルコース

チームで努力を競います。ルーム担当の先生と一緒に1日1日を反省しながら、協力して学習を成功させます。受験の年、ここでのがんばりが勝利を約束します。

○算数は入試重要単元
○国語は記述
○レベル別授業と早朝テスト
○算国テーブルマッチ
○新式不得意特訓サバイバル
○森林浴タイムトライアル
　ヒカリゴケの伝説(賢者の遺言)
○天体観測
○社会暗記法(チェックペン使用)
○トレーニングルーム
○飯ごう炊爨 カレーコンクール

小6公立中高一貫校受検夏期合宿
適性検査突破に必要な記述力と考える力の育成

8月18日(月)～21日(木)　3泊4日　費用 53,550円

○記述 作文力養成特訓
○文作くんトレーニング
○星座を中心とした天体観測
○森林浴タイムトライアル
　(ネイチャーウオッチング)
○自然観察
○思考力テーブルマッチ
○飯ごう炊爨　他

中学生

特進選抜の特訓合宿

特訓合宿の内容

- ●チーム別学習トレーニング
- ●レベル別授業
- ●テーブルマッチ：数学・英語速読
- ●長文読解サバイバル
- ●高校入試オリエンテーション
- ●「その日学習」指導
- ●英語リスニングマッチ
- ●早朝テスト
- ●高校入試オリエンテーション：高校生活へのアプローチと受験ノウハウ
- ●森林浴タイムトライアル：
  中1 その木を探せ／中2 四十八池スカイウォーク「忘却の俳人」／中3 ファイナルファンタジー

中1合宿

高校受験を突破できる勉強法を体得

8月18日（月）～21日（木）　3泊4日　費用 53,550円

ハイレベル校合格の基礎作り

- ○定期テストの勉強法体得
- ○理系科目と文系科目の学習法体得

中2合宿

難関校受験のための勉強のスタートを切る！

8月18日（月）～22日（金）　4泊5日　費用 71,400円

- ○入試重要単元の集中学習
- ○「トレーニングルーム」で「その日学習」を定着
- ○数学：関数・文章題／英語：比較・不定詞・受動態
- ○高校入試オリエンテーションで意識づくり

中3合宿

入試突破特訓合宿

8月18日（月）～22日（金）　4泊5日　費用 71,400円

- ○志望校合格のためのレベルアップ
- ○習熟度に応じた「レベル別特訓」とわかるまでやりきるトレーニングルーム

短期集中特訓（通い型）

中３短期集中特訓（12時間特訓）

8月18日（月）～22日（金）　5日間　費用 31,500円（授業料・教材費すべて含む）

2会場 本八幡・笹塚のいずれかを選択

選抜レベルアップゼミ

志望校の入試問題にはまだまだ届かない力をアップするための5日間です。
集中力アップと基礎的な力を鍛えつつ入試レベルに近づける集中特訓になっています。

進学基礎集中特訓　チーム制 わかるまでやりきる！

○レベル別授業　○テーブルマッチ　○不得意特訓　○トレーニングルーム　○チームミーティング

高校生

高１合宿

大学受験オリエンテーション合宿

8月18日(月)～21日(木)　3泊4日　費用 53,550円

大学入試を考えたとき、高校1年生段階でやるべきことは何か？可能なら、毎日一定時間学習する習慣とその姿勢が維持されることです。さらに大切なことは、どんな学部に行くか、志望学部を決定するということです。なぜ高校1年生の内に決めなければならないのか？それは多くの高校で「高2高3での選択教科の決定を高1のうちにしなければならない」からなのです。その選択は大学受験の受験教科と直接結びつくものです。そして、その受験教科は①どの学部を受験するか、②国立を受験するのかしないのか、の2点がはっきりしないと最終的には決められないのです。この高1オリエンテーション合宿は、学習習慣を維持させる、確立させる、学習姿勢をさらに高いものにするという学習面での特訓と合わせて、大学入試の仕組みを知り、どの学部を受験するのかを決定する上での大きな一助になるはずです。

学習テーマ

- ●英語：準動詞／数学：確率
- ●大学生活オリエンテーション：『現役大学生に聞く、様々な学部での学習、研究と生活』
- ●大学入試入門ゼミ

高2高3合宿

受験に必要なことを身につける夏！

8月18日(月)～22日(金)　4泊5日　費用 71,400円(宿泊代・交通費・授業料含)

高2は「俺流勉強法」ということで、大学受験への学習の方法を完全に確立する時期になります。高3はそれぞれの目標に絞る形で細かくコースが分かれます。経験豊かな若い先生がサポートし、じっくりと分かるまで取り組める学習体験になっています。実力完成を目指します。

高2　○英語：英文法総復習　○国語：センター現国の攻略・古典演習(選択)　○数学：「関数の征服」高2編

高3　○英語：英文法総復習(レベル別)　○国語：現代文演習・古典演習・推薦AO小論文(選択)
○数学(テーマ関数)：二次関数・三角関数・指数対数関数・微分積分
○英語イディオムコンクール　○テーブルマッチ　○チーム別トレーニング

マイプラン型高原学習

8月18日(月)～21日(木) 3泊4日 費用 小学生 54,600円／中高生 60,900円(宿泊代・交通費・授業料 全含)

目的に応じてスケジュールを組みます。個別学習を基本にした合宿スタイルです。

小学生マイプラン型(小4・小5・小6)

受験クラス以外の生徒のための宿泊型の集中学習です。学習はグループ(少人数)指導で、弱点補強や、集中して学習に取り組む訓練・勉強法体得等を組み込んでいきます。小学生はイベント学習やハイキングも入れて勉強法体得を目指します。

中学生マイプラン型(中1・中2・中3)

高校受験のない私国立の中学生の必要な課題を消化したり、高校受験を目指しているが不得意を重点的に解決したい生徒や学習の習慣を取り戻したい生徒に最適です。

高校生マイプラン型(高1・高2・高3)

不得意の克服、教科の重点学習、宿題の完全消化など自分の学習に集中したい生徒のための高原学習です。小論文100枚を書き上げた生徒もいます。自分の課題を完全に消化できる3泊4日です。

インストラクターが、生活のコントロールをします。また、大学受験レベルまで指導できる講師が常に学習ルームにいます。他の合宿の諸行事を選んで参加できます。昨年までの例を挙げると、「大学入試オリエンテーション」「森林浴タイムトライアル」「飯ごう炊飯」「ハイキング」「テーブルマッチ」「不得意特訓サバイバル」など、本人の希望に添いつつ、インストラクターが学習生活をレイアウトしていきます。

Ⅰターム　7月22日～26日
Ⅱターム　7月28日～8月1日
Ⅲターム　8月4日～8日
Ⅳターム　8月24日～8月28日

小学部 夏期講習案内

小学生中学受験コース

必修　各学年シリーズ上の総復習を行います。各単元のポイントをおさえた解説授業と豊富な演習量で受験突破に必要な学力を鍛えます。この夏休みに効果的な学習ペースを作り上げます。

選択　受験必修単元の割合を定着させる「割合じっくり演習」(小5)

学年	コース・クラス	指導教科	講習ターム	時間	受講料
小3	必修コース	算数・国語	Ⅲ・Ⅳ	9:00～11:40	23,100円
小4	必修コース	算・国・理・社	Ⅲ・Ⅳ	9:00～12:35	29,400円
	選択)理科実験		Ⅱ	9:00～11:40	9,450円
	選択)小学生マイプラン型合宿		8/18～8/21	3泊4日	54,600円
小5	４科必修コース	算・国・理・社	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:05	56,700円
	２科必修コース	算・国	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～15:40	37,800円
	選択)理科実験		Ⅲ(注1)	9:55～12:35	9,450円
	選択)割合じっくり演習		Ⅳ(注1)	9:55～12:35	9,450円
	選択)宿題消化ルーム		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	17:10～18:45	8,400円
	選択)志賀高原森のスクール		8/18～8/21	3泊4日	53,550円
小6	4科必修コース	算・国・理・社	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	9:00～17:05	94,500円
	2科必修コース	算・国	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:05	52,500円
	選択)宿題消化ルーム		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	17:10～18:45	8,400円
	選択)小学生インテンシブ(弱点補強&「4科のまとめ」指導)		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	19:15～21:00(注2)	21,000円
	選択)志賀高原夏期合宿		8/18～8/22	4泊5日	71,400円

(注1)　近隣小学校の林間学校などの関係で、教室によってはタームが異なる場合があります。お問い合わせ下さい。
(注2)　小学生インテンシブを選択された場合は、夕食は18:45 ～19:15になります。

選択理科実験(小4・5)

受験必修の基礎的な実験を、各教室で実施します。観察や実験によって基本法則をしっかりと認識できます。塾作成の実験プログラムで、小4は実験器具の使い方からスタート、基本的な観察・実験が中心です。小5は、受験で必要なメインの単元の実験を行います。

・(小4)実験道具の使い方・観察,実験の方法
メスシリンダー　上皿天秤　顕微鏡　凸レンズと虫メガネ　磁石　もののあたたまり方　豆電球　等

・(小5)物理・化学・生物・地学の基礎実験
酸素の発生と性質　二酸化炭素の発生と性質　太陽の一日の動き
光の性質　ものの運動　ものの燃え方　蒸散作用　力のはたらき　等

4科必修理科実験講座(小6)

必修の授業内で、入試に出やすい『水溶液』を中心にした重要な実験を行い、実験の図・実験のポイントをテキストに整理し理解を深めます。

・(小6)各分野の受験頻出内容の実験
水溶液の性質　電気分解　気体の性質　光合成　電磁石等　〔小6は必修コースの理科の授業内で実施します。〕

選択宿題消化ルーム(小5・6)

その日の復習と家庭学習の課題の一部を消化するルームです。先生への質問もできる形になっています。

選択小学生インテンシブ(小6)

小6受験クラスは毎日「4科のまとめテスト」があります。『4科のまとめ』は受験必修の内容から編集されており、夏にこの4冊をやりきるかどうかが1つの分岐となります。「小学生インテンシブ」では、この『4科のまとめ』を試験範囲にあわせて毎日勉強していきます。同時に、生徒各自の基本における弱点を克服するための時間もここでとります。

公立中高一貫校対策コース

受検を突破する力の養成

小4･5は入試に必要な学力をつけ、知識を記述に生かす練習をします。
小6は近年出題された実戦的な問題を通して受検に必要な力をつける講座です。

学年	コース･クラス	指導教科	講習ターム	時間	受講料
小4	公立記述対策･学力対策	全教科	Ⅲ･Ⅳ	9:00～11:40	23,100円
	選択）理科実験		Ⅱ	9:00～11:40	9,450円
	選択）小学生マイプラン型合宿		8/18～8/21	3泊4日	54,600円
小5	公立記述対策･学力対策	全教科	Ⅲ･Ⅳ	13:00～17:05	34,650円
	選択）理科実験		Ⅲ（注1）	9:55～12:35	9,450円
	選択）小学生マイプラン型合宿		8/18～8/21	3泊4日	54,600円
小6	公立記述対策･学力対策	全教科	Ⅲ･Ⅳ	13:00～17:05	34,650円
	選択）公立中高一貫校受検夏期合宿		8/18～8/21	3泊4日	53,550円

（注1） 近隣小学校の林間学校などの関係で、教室によってはタームが異なる場合があります。お問い合わせ下さい。

小学生ピラミッドコース

1学期の学習内容を整理し、実力をつける夏！

長い夏休みを有意義に過ごすために、自分に必要なコースを選択し復習をしよう！小4･5は楽しい理科実験が選択できます。

学年	コース･クラス	指導教科	講習ターム	時間	受講料
小3	必修コース	算数･国語	Ⅲ･Ⅳ	9:00～11:40	23,100円
小4	必修コース	算数･国語	Ⅲ･Ⅳ	9:00～11:40	23,100円
	選択）理科実験		Ⅱ	9:00～11:40	9,450円
	選択）小学生マイプラン型合宿		8/18～8/21	3泊4日	54,600円
小5	5科コース	算･国･理･社･英	Ⅲ･Ⅳ	13:00～17:05	34,650円
	4科コース	算･国･理･社	Ⅲ･Ⅳ	13:00～16:15	32,550円
	3科コース	算･国･英	Ⅲ･Ⅳ	13:50～17:05	32,550円
	2科コース	算･国	Ⅲ･Ⅳ	13:50～16:15	23,100円
	英語単科コース	英語	Ⅲ･Ⅳ	16:20～17:05	12,600円
	選択）理科実験		Ⅲ（注1）	9:55～12:35	9,450円
	選択）小学生マイプラン型合宿		8/18～8/21	3泊4日	54,600円
小6	5科コース	算･国･理･社･英	Ⅲ･Ⅳ	13:00～17:05	34,650円
	4科コース	算･国･理･社	Ⅲ･Ⅳ	13:00～16:15	32,550円
	3科コース	算･国･英	Ⅲ･Ⅳ	13:50～17:05	32,550円
	2科コース	算･国	Ⅲ･Ⅳ	13:50～16:15	23,100円
	英語単科コース	英語	Ⅲ･Ⅳ	16:20～17:05	12,600円
	選択）公立中高一貫校受検夏期合宿		8/18～8/21	3泊4日	53,550円
	選択）小学生マイプラン型合宿		8/18～8/21	3泊4日	54,600円

（注1） 近隣小学校の林間学校などの関係で、教室によってはタームが異なる場合があります。お問い合わせ下さい。

小学生英語（小1～小4）

コミュニケーション英語は低学年がチャンス！

楽しくくり返し、言葉で覚える。ネイティブな音で、アクティブに学習する。

学年	コース･クラス	指導教科	講習ターム	時間	受講料
小1～4	小学生英語コース	英語	Ⅲ	11:45～12:35	6,300円

※他のコースとあわせて選択をする場合、この小学生英語の講座受講料は5,250円となります。

中学部 夏期講習案内

中学生高校進学コース 進学・選抜・特進クラス

中1・中2

●「1学期の総復習」と「2学期の予習」で実力アップ！
●夜のクラス授業に「eトレ」を組み合わせることにより、演習量を大幅にアップさせることができます。

中3

●必修授業では入試に向けた「総復習」と「入試問題演習」
●選択「理社特訓講座」では中1～中3前半部分の内容を総整理＆演習！
　選択「英数リターン講座」では、もう一度中1～中2の重要単元の基本に立ち返り授業します。
●選択「フリーチョイス」では1人1人のニーズに合わせた演習量の確保が可能です。別表の項目の中からお選びください

■ 中学生高校進学・選抜・特進クラス

学年	コース・クラス		指導教科	講習ターム	時間	受講料
中1	進学	必修5科コース	数・英・国・理・社	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18:20～21:00	33,600円
		必修3科コース	数・英・国	Ⅱ・Ⅳ	18:20～21:00	28,350円
	選抜	必修5科コース	数・英・国・理・社	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18:20～21:00	33,600円
		必修3科コース	数・英・国	Ⅱ・Ⅳ	18:20～21:00	28,350円
	特進必修5科コース		数・英・国・理・社	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18:20～21:00	45,150円
	選択）学校の宿題一掃ルーム			Ⅰ	9:00～12:00	10,500円
	選択）志賀高原夏期合宿（選抜・特進対象）			8/18～8/21	3泊4日	53,550円
	選択）中学生マイプラン型合宿			8/18～8/21	3泊4日	60,900円
中2	進学	必修5科コース	数・英・国・理・社	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18:20～21:00	33,600円
		必須3科コース	数・英・国	Ⅱ・Ⅳ	18:20～21:00	28,350円
	選抜	必修5科コース	数・英・国・理・社	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18:20～21:00	33,600円
		必修3科コース	数・英・国	Ⅱ・Ⅳ	18:20～21:00	28,350円
	特進必修5科コース		数・英・国・理・社	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18:20～21:00	45,150円
	選択）学校の宿題一掃ルーム			Ⅰ	9:00～12:00	10,500円
	選択）志賀高原夏期合宿（選抜・特進対象）			8/18～8/22	4泊5日	71,400円
	選択）中学生マイプラン型合宿			8/18～8/21	3泊4日	60,900円
中3	進学	必修5科コース	数・英・国・理・社	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
		必修3科コース	数・英・国	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
	選抜	必修5科コース	数・英・国・理・社	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
		必修3科コース	数・英・国	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
	特進必修3科コース		数・英・国	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
	選択）理社特訓講座			Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	9:00～12:00	25,200円
	選択）英数リターン講座			Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	9:00～12:00	25,200円
	選択）フリーチョイス or 学校の宿題一掃ルーム			Ⅰ	9:00～12:00	10,500円
	選択）宿題演習ルーム			Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	19:15～21:00	無料
	選択）『進学基礎特訓』（進学対象）			8/18～8/22	9:00～21:00	31,500円
	選択）『選抜レベルアップゼミ』（選抜対象）			8/18～8/22	9:00～21:00	31,500円
	選択）志賀高原夏期合宿（選抜・特進対象）			8/18～8/22	4泊5日	71,400円
	選択）中学生マイプラン型合宿			8/18～8/21	3泊4日	60,900円

※外部生が選択講座のみを受講する場合は、1教科につき2,100円の教材費が必要となります。

■ 中３対象 フリーチョイス（個別指導型）

自分なりの弱点補強＆レベルアップ（個別指導型）

一斉集団型の授業に加えて、それぞれの課題に対応できるフリーチョイス（個別指導型）を選択できるようにしてあります。

Ⅰターム　9:00～12:00

教科	選択講座名	講座説明
数学	基礎計算トレーニング	正負の数～2次方程式の全計算分野を演習し、計算完全クリアを目指します。
	文章題トレーニング	文字式から始まって文章題の典型題を攻略。
	関数トレーニング	比例・反比例から始まって関数の典型題を攻略。
	平面図形トレーニング	公式の復習や証明の演習を通じて、入試に通用する基礎レベルを築きます。
	立体図形トレーニング	公式の復習やその使い方を確認して、入試に通用する基礎レベルを築きます。

（次頁に続く）

（次頁から続き）

教科	選択講座名	講座説明
数学	入試文章題トライアル	入試で出題された文章題にチャレンジします。
	入試関数トライアル	入試に出題された関数にチャレンジします。
	入試平面図形トライアル	入試に出題された平面図形にチャレンジします。
	入試立体図形トライアル	入試に出題された空間図形にチャレンジします。
英語	英文法総合トレーニング	重要文法単元を一歩ずつクリアしていきます。
	入試英文法トライアル	出題形式別に英文法の問題を演習します。
	入試長文トライアル	入試で出題された長文問題にチャレンジします。
国語	国文法総合トレーニング	国文法全範囲を総ざらいし、演習を繰り返します。
	古典演習トレーニング	古文・漢文を入試で必要とする中3生のための講座です。
	国語読解トレーニング	文章ジャンル別、出題形式別に演習を繰り返します。
理科	理科総合トレーニング	既習分野を総復習し演習します。
	入試物理トライアル	入試に出題された物理分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。
	入試化学トライアル	入試に出題された化学分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。
	入試生物トライアル	入試に出題された生物分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。
	入試地学トライアル	入試に出題された地学分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。
社会	地理トレーニング	中学地理についてまとめと演習をします。
	歴史トレーニング	中学歴史についてまとめと演習をします。
	公民トレーニング	中学公民についてまとめと演習をします。
	入試地理トライアル	入試に出題された地理分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。
	入試歴史トライアル	入試に出題された歴史分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。
	入試公民トライアル	入試に出題された公民分野の問題を演習。公立最上位～国私立受験生向け。

私国立中学生・公立一貫校中学生コース

夏のメニュー

学年	コース	講習ターム	時間	受講料
中1	20日間5科錬成コース（注）	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	18:20～21:00	45,150円
	15日間5科基礎力定着コース（注）	Ⅱ Ⅲ Ⅳ	18:20～21:00	33,600円
	英語単科10日間コース（進行形・助動詞・過去形）	Ⅱ Ⅲ	19:15～21:15	英語のみ 26,250円 数学のみ 15,750円 2教科 36,750円
	数学単科5日間コース（方程式・関数）	Ⅳ	19:15～21:15	
	選択）学校の宿題一掃ルーム	Ⅰ	9:00～12:00	10,500円
	選択）志賀高原夏期合宿（定期テスト勉強法体得）	8/18～8/21	3泊4日	53,550円
	選択）一貫校生徒用マイプラン型合宿	8/18～8/21	3泊4日	60,900円
中2	20日間5科錬成コース（注）	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	18:20～21:00	45,150円
	15日間5科基礎力定着コース（注）	Ⅱ Ⅲ Ⅳ	18:20～21:00	33,600円
	英語単科10日間コース（不定詞・比較・受動態・現在完了）	Ⅱ Ⅳ	19:15～21:15	英語のみ 26,250円 数学のみ 15,750円 2教科 36,750円
	数学単科5日間コース（多項式・平方根・二次方程式）	Ⅲ	19:15～21:15	
	選択）学校の宿題一掃ルーム	Ⅰ	9:00～12:00	10,500円
	選択）志賀高原夏期合宿（その日学習体得）	8/18～8/22	4泊5日	71,400円
	選択）一貫校生徒用マイプラン型合宿	8/18～8/21	3泊4日	60,900円
中3	20日間5科基礎錬成コース（注）	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
	20日間3科基礎錬成コース（注）	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
	20日間3科中学Mレベル復習＆高校入試（注）	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	13:00～17:55	65,100円
	英語単科10日間コース（関係代名詞・関係副詞・準動詞）	Ⅲ Ⅳ	19:15～21:15	英語のみ 26,250円 数学のみ 15,750円 2教科 36,750円
	数学単科5日間コース（数Ⅰ 2次関数・三角比）	Ⅱ	19:15～21:15	
	選択）学校の宿題一掃ルーム	Ⅰ	9:00～12:00	10,500円
	選択）志賀高原夏期合宿（高校入試レベル錬成）	8/18～8/22	4泊5日	71,400円
	選択）一貫校生徒用マイプラン型合宿	8/18～8/21	3泊4日	60,900円
	選択）『選抜レベルアップゼミ』	8/18～8/22	9:00～21:00	31,500円

注）このコースは茗渓塾の選抜・特進コースに合流することになります。
※特定の単元のみ集中して学習したい場合は、個別学習ルーム「アシスト」または「eトレ」を受講して下さい。

大学受験部

はじめに

夏休みの学習内容で大学受験の合否が決定します。これは、大学受験の常識であり改めて言うまでもないことです。高2、高1にとっても、まとまった勉強時間が取れる夏休みは大きな差を生みます。
茗渓塾の夏期講習は一方的な講義ではなく、現役生向けの分かりやすい導入から定着のための小テストや問題演習を含んだ変化に富んだ時間となりますので、自然な形で学習時間を伸ばすことができます。参加するだけで50時間の学習時間が確保できる夏期合宿と合わせて、この夏に大きな飛躍を勝ち取りましょう。

日程

第Ⅰターム：7月22日～26日　　第Ⅱターム：7月28日～8月1日
第Ⅲターム：8月4日～8日　　第Ⅳターム：8月24日～28日
夏期合宿　大学受験生・高3・高2：8月18日～22日　高1：8月18日～21日

※時間帯は教室により異なりますのでお問い合わせください。 ※1講座の授業時間は2時間15分です。
※夜のインテンシブ（大学受験生・高3対象）は、全タームを通じて開催し、毎日1時間45分です。

料金

1講座：18,900円　　2講座：33,600円　　3講座以上 1講座：＋10,500円
夏期合宿（大学受験生・高3・高2）：71,400円　　夏期合宿（高1）：53,550円
夜のインテンシブ（大学受験生）：21,000円（20日間）

大学受験生・高３対象　特設講座

慶応大小論文　第Ⅰターム／9:00～11:15／本八幡教室

国語がない入試が慶応大文系入試の特色です。特に文学部では、昨年度歴史的な難問が出題され必要とされる対策が一変しました。商学部を除く文系の各学部を対策します。塾では、小論文講座設置以来毎年慶応大合格者を出しています。添削が4回付きます。

推薦・AO特別講座 小論文・志望動機書　第Ⅰターム／13:00～15:15／本八幡教室

合格する志望動機書の書き方を基礎から短期間で完成させます。また、小論文については、一般には公開されていない塾独自のアイデアの出し方や、独自のすぐに活用できる段落構成法をマスターします。添削が4回付きます。

東大・東工大への数学　第Ⅱターム／9:00～11:15／本八幡教室

東大・東工大の入試において、短時間の中で解ける問題がどれなのか見極めることが非常に重要になります。
「ハイレベルな良問」に数多く触れ、見極める力をつけるために、この２校の頻出単元を1日1単元ずつ、
特訓していく講座です。数学が得意な生徒なら、希望校を問わず歓迎します。

理系のためのセンター現代文　第Ⅱターム／13:00～15:15／本八幡教室

普段勉強時間が取れない、センター試験のみで国語を使う理系の生徒のための講座です。
5日間で解き方の基本や、読み方の極意をマスターし、夏以降の勉強法を伝授します。
※「理系のためのセンター古文」については、夏期合宿内で開催いたします。

東大・一橋大への英語　第Ⅱターム／15:45～18:00／本八幡教室

東大レベルの難度の高い本格的な読解問題や英作文に挑戦します。
また、一橋大で求められる的確な文脈把握を前提とした内容説明問題や和訳問題の対策も行っていきます。
東大、一橋大希望者のほか、英語に覚えのある慶応大や上智大の希望者も歓迎します。

大学受験生・高3対象 通常講座

※Hはハイレベル、Mはミドルレベル、Bは基礎レベルを表します。

インテンシブ

夜のインテンシブ　全ターム 19:15〜21:00

夏休みは多くの講座を受講する塾生が多く、消化不良の恐れもあります。
そのため、質問対応の講師が付く自習形式でのインテンシブ講座を開講します。

英語

早慶国立への英語（長文中心）　H◎ M○ B—　5日間

早大政経・法、慶応文学部などに特有の難度の高い長文や超長文を読みこなす実力をつけるための講座です。英文法については、完成していることを前提としますが、自信がない生徒は「総合英文法」を併せて受講すると効果的です。

英語長文M（ミドル）　H— M◎ B○　5日間

MARCHから日東駒専レベルを目指す人のための講座です。対比の取り方や、接続詞による文脈のとらえ方など効率よく長文を読むための基本的なテクニックを身につけていきます。「総合英文法」を併せて受講することをお勧めします。

総合英文法　H◎ M◎ B—　5日間

英文法の標準から発展レベルまでを扱います。英文法の出題への対応を万全にするほか、構文と短いセンテンスに慣れることは、長文の読解力の底上げにもつながってきます。夏休みに文法を一通り終えることが合格へつながります。

基礎からの英語（第Ⅰ・Ⅱタームに設置）　H— M— B◎　5日間

文法事項や単語など、基礎レベルに不安や抜け落ちがある人のための講座です。また、部活等で1学期にほとんど演習ができなかった人も、基礎を固めることで飛躍の土台を作りましょう。「総合英文法」「英語長文M」と併せての受講をお勧めします。

国語

現代文・小論文 −読みを研ぎ澄ませ−　5日間

主に、センターレベルの現代文から、MARCHレベルの文章を扱います。秋以降にハイレベルな文章を読みこなすための土台を完成します。現代文単語テストを毎回実施。説明を聞くだけでなく、自分の力で文脈を整理して要約する演習で本当の力をつけていきます。

古典 −入試問題完全制覇−　5日間

古文単語も、古典文法も、「覚えて終わり」では入試の得点に結びつきません。それをいかに「読解」に結びつけるかが鍵を握るのです。ホンモノの「入試問題」を題材に、学校や塾で習った古文の「基礎知識」が、入試では如何に問われてくるのかを実感しましょう。

数学

センター数ⅠA 総合／センター数ⅡB 総合　各5日間

センター入試を系統的・網羅的に解説・演習する講座です。※片方の講座のみの受講も可能です。

理系数学（数ⅢC）行列のできる行列講座&微積マスター講座　各5日間

基本から入試問題レベルまで、この各5日間で「行列」「微積」がマスターできる講座になっています。※片方の講座のみの受講も可能です。

文系数学（数ⅡB）微分積分を極める　5日間

数Ⅲを使う生徒にとっても、またセンター入試のみ数学を利用する生徒にとっても、数ⅡBまでの微分積分は最重要単元です。センター入試レベル〜一般入試の数多くの問題を演習・解説していく講座です。

基礎からの数学　5日間

センター入試の頻出単元を基礎からきっちり演習していく講座です。

大学受験部

高2対象 通常講座

※Hはハイレベル、Mはミドルレベル、Bは基礎レベルを表します。

英語

ハイレベル英語（長文中心） H◎ M○ B—

5日間

高3になってからではなく、時間のある夏休みを生かして長文に挑戦します。抵抗感を和らげるために、
短めの文章から始めて徐々に長い文章に慣れていきましょう。総合英語と併せての受講をお勧めいたします。

総合英語（文法中心） H— M◎ B○

5日間

英語力の飛躍はまずは文法から。誰でも真剣に取り組めば必ず結果が出るのが文法分野の特色です。
文章の意味を正確に理解するために文法は不可欠です。
文法がわかり、1つ1つの文章がわかるようになると長文も分かるようになります。

基礎からの英語 H— M— B◎

5日間

文法事項や重要語句など、基礎レベルに不安や抜け落ちがある人のための講座です。
文法は積み上げ学習です。あいまいな文法事項が多い人にとって、夏休みは挽回する絶好のチャンスです。

国語

国語（現代文・古文・推薦・小論文）

5日間

現代文は、時間が取れる夏休み、深く踏み込んだ読解に取り組んでいます。国語は全科の基礎です。
秋への土台を作りましょう。古文は、入試に向かって基本のチェック！
助動詞を中心に、既習事項の再確認をしつつ、読解力を培います。小論文も併せて学びます。

数学

センター数ⅠA 総合／センター数ⅡB 総合

各5日間

センター入試を系統的・網羅的に解説・演習する講座です。※片方の講座のみの受講も可能です。

基礎からの数学

5日間

センター入試の頻出単元を基礎からきっちり演習していく講座です。

理系数学（数ⅡB） 数列を極める

5日間

数Ⅲの「極限」を理解するためにも、切っても切り離せない単元です。
導入から入試問題演習まで、理系のハイレベル校を志望する人にも満足できる内容です。

文系数学（数ⅡB） センターレベル数列

5日間

基本からしっかり導入し、センターレベル問題が解けるレベルまで獲得するのが狙いです。

高1対象 通常講座

英語

総合英語（2講座扱い） 10日間

文章を正しく読むためには、まずは文法からです。これから先の応用問題や長文読解につなげていくためには、重要な文法事項は1つとしておろそかにはできません。

基礎からの英語 5日間

中学時代におろそかにしていた重要単元を見直し、土台をしっかり固めます。
文法事項や重要語句など、基礎レベルに不安や抜け落ちがある人のための講座です。

数学

高1数学（数Ⅰ A）（2講座扱い） 10日間

高1数学において最重要単元となる「2次関数」「場合の数・確率」を扱います。
それぞれ5日間で各単元をマスターできる内容になっています。

合同実施講座 下記の講座は、拠点教室で合同実施となります。

国語

高1国語 笹塚・稲毛・本八幡教室で開設予定。

現代文は、じっくり時間をかけてやや難解な文章でも自力で文脈を取れるテクニックを身につけていきます。
古文は、助動詞克服のための「源氏ドロドロ物語」。学校の教科書にはなぜか載らない「源氏物語」の最も面白い部分（実は入試頻出！）を題材にします。小論文・作文の指導を行います。

理科・社会

センター対策から、私大・国立対策まで、少人数制で受講者の希望に沿って実施していきます。
希望者が多い場合、開講教室を増やす見込みです。

大学受験生・高3物理	小岩教室で開設予定。	大学受験生・高3世界史	小岩教室で開設予定。
大学受験生・高3化学	小岩・笹塚教室で開設予定。	大学受験生・高3政経	小岩教室で開設予定。
大学受験生・高3生物	瑞江・大山教室で開設予定。	大学受験生・高3倫理	笹塚教室で開設予定。
大学受験生・高3日本史	本八幡・王子教室で開設予定。		

アシスト（個別学習ルーム）

Ⅲターム（8月4日～8日）・Ⅳターム（8月24日～28日）が夏期講習体制になります。
希望によって他のクラス授業も受けられます。内部生は7月分の授業は7月28日（月）まで続きます。

個別学習ルームは、夏こそ集中学習で実力アップのチャンスです。平常は入れない集団のクラス授業に合流することもできます。また、「グループごとのスクーリング」（1教科1冊のテキストを終了させる）も有効になります。ご相談ください。個別学習ルームの夏期講習は1ターム5日間（1日95分）が基本です。内部生は8月の授業分が1ターム分です。夏は学力アップの絶好のチャンスです。学習量を増やす方向で自分に合った学習計画を立ててみましょう。内部生は7月中の面談で決めていきます。

指導内容	Ⅲ・Ⅳターム共通	受講料
○平常授業の振替 ○夏期講習内容から選択 ○学校教科書演習や宿題 ○全学年までの復習 ○不得意教科演習 ○講習会のフォロー学習 ○その他の個別課題	① AM9時～ ② AM10時50分～ ③ PM1時～ ④ PM2時40分～ ⑤ PM4時20分～ ⑥ PM7時15分～	95分×5日間（1単位あたり） 小中学生…21,000円 高校生……25,200円

夏に組む特別プログラム『eトレ』

授業での「わかった！」を「できた！」に変える

1人1人「学習プログラム」を作成。ラーニング・ステップ・チェックの反復で「わかった！」を「できた！」に変えます。
必要に応じて「ハイチャレンジ」や「定期テスト対策コース」を選択できます。

演習内容	Ⅲ・Ⅳターム共通	受講料
○小学生弱点克服コース ○中学生弱点克服コース ○高校生弱点克服コース ○入試問題演習コース ○中学生定期テスト対策コース ○漢字徹底コース ○計算徹底コース ○高校生英単語徹底コース	① AM9時～ ② AM10時50分～ ③ PM1時～ ④ PM2時40分～ ⑤ PM4時20分～ ⑥ PM7時15分～	1単位　95分×5日間 内部生…1単位あたり3,150円 外部生…1単位あたり5,250円

第21回 ソフトボール大会

8月29日(金)　江戸川河川敷

- 小学生低学年大会(小3～小4)
- 小5生大会
- 女子チーム大会(小6以上)
- 男女混合チーム大会(小6以上)
- 小6生大会
- 中1・中2生大会
- 中3生大会
- 高校生大会

・夏期講習でガンガンに勉強してきた生徒が、各教室各クラスでチームを作りこの大会に参加してきます。
・授業では見られない生徒の色々な側面がみられ、講師も100人を超える参加があります。審判、会場係、保健、運営のほか、各チームの監督は講師が行います。
・安全第一とスポーツマンシップがモットーです。
・受験をチームで乗り切る力強い連帯感が生まれます。
・応援のみでもOK！参加賞がもらえるよ！

茗渓ポイントカード

安全に通って頂くために

- 生徒の入退室時間が、保護者の携帯にメールで自動送信されるシステムです。教室と保護者の密な連携で、お子様の安全を守ります。
- 緊急時(台風などの災害時)のお知らせや、教室からの普段の連絡も送信致します。

やる気につながるポイントシステム

- 毎回の出席で1ポイントが加算されます。
- 宿題を1ヶ月完全にこなす、イベントへ参加する、検定試験への合格、成績アップなどでもポイントが加算されます。

ポイントをためて、素敵な賞品をもらいましょう！

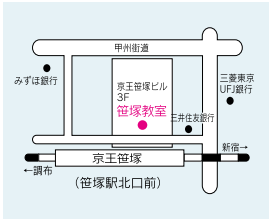
ポイント数	賞品例
100	アクアタイマー、キッズマジック、文具セット
200	ダイヤブロック、ミニタオル、サーモトラベラー
300	バイプレーン、電波時計、ミニ卓球セット
400	ウエストバッグ、トレーニングセット、受講料優待券(5,000円分)
500	ミニ天体望遠鏡、顕微鏡、スポーツウォッチ
600	クワトロウォッチ、スヌーピーインテリアマット
700	たこ焼き器、地球儀、コンパクトカメラ
800	10気圧防水ウォッチ、アクアリウム、受講料優待券(10,000円分)
900	ラジオ付電波時計、カールアイロン、財布
1000	ラベルライター、天体望遠鏡、マジックセット
1200	受講料優待券(20,000円分)
1500	電子辞書、カシオキーボード、デジタルカメラ
2000	G-SHOCK、MDプレーヤー、折りたたみ自転車、ディズニーランド・シーのご招待券
3000	CASIO電子辞書、Canonデジタルカメラ
4000	北海道スキーペア4日間、沖縄4日間

夏期講習申し込み方法

step1	step2	step3	step4
お問い合わせ	クラス分け テスト	個別面談 カウンセリング	受講

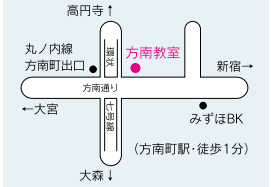
茗渓塾 教室一覧

■ 笹塚教室



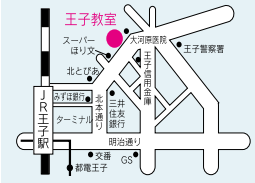
〒151-0073 渋谷区笹塚1-56-7京王笹塚ビル3F
tel.3378-0199
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 03-3378-0197

■ 方南教室



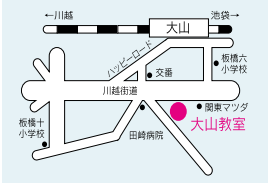
〒168-0062 杉並区方南2-23-22方南共同ビル
tel.3313-2720
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 03-3313-5352

■ 王子教室



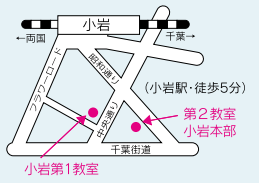
〒114-0002 北区王子2-15-10櫻ビル2F
tel.3913-8977
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 03-3913-7045

■ 大山教室



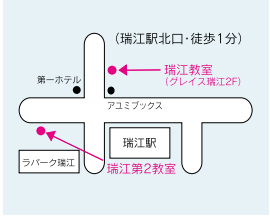
〒173-0033 板橋区大山西町3-11板専会館
tel.3958-3119
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 03-3958-3179

■ 小岩教室



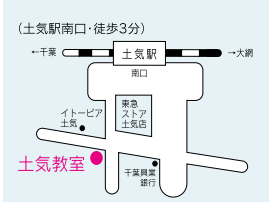
〒133-0056 江戸川区南小岩8-4-27
tel.3672-1010(代)
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 03-3672-1040

■ 瑞江教室



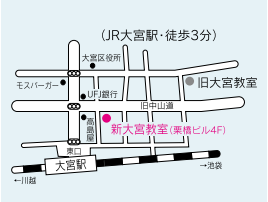
〒132-0011 江戸川区瑞江2-5-3グレイス瑞江2F
tel.3698-7070
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 03-3698-1069

■ 土気教室



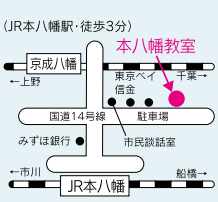
〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘3-4-1
tel.043-205-5541
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 043-205-5543

■ 大宮教室



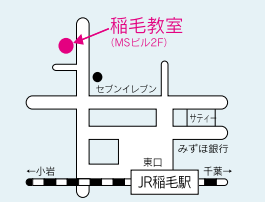
〒330-0846 さいたま市大宮区大門町1-63 栗橋ビル4F
tel.048-650-5655
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 048-649-8133

■ 本八幡教室



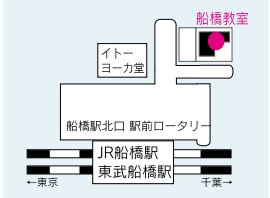
〒272-0021 市川市八幡2-4-2 誠屋ビル2F
tel.047-334-2255
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 047-334-3003

■ 稲毛教室



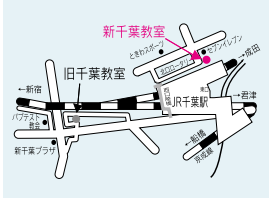
〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台6-19-25 MSビル2F
tel.043-207-6565
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. .043-207-6566

■ 船橋教室



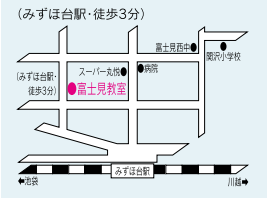
〒273-0005 船橋市本町6-1-13YMビル5F
tel.047-460-3816
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 047-460-3836

■ 千葉教室



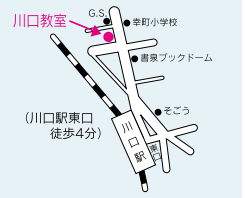
〒260-0045 千葉市中央区弁天1-1-5 中村ビル2F
tel.043-290-5680
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 043-287-2341

■ 富士見教室



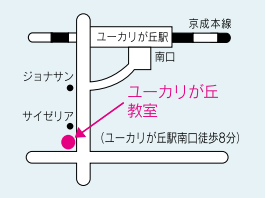
〒354-0018 富士見市西みずほ台2-3-12
tel.049-251-2048
受付時間／午後2:00～午後9:00
FAX. 049-251-7448

■ 川口教室



〒332-0016 川口市幸町3-7-22
tel.048-241-5456
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 048-241-5457

■ ユーカリが丘教室



〒285-0859 佐倉市南ユーカリが丘11-2 SYビル
tel.043-460-2070
受付時間／午前11:00～午後7:00
FAX. 043-460-2080

茗渓塾本部 tel.03-3320-9661　茗渓塾教務部 tel.03-3659-8638　お問い合わせフリーダイヤル 0120-192860(10:00～19:00)
教室営業時間：平日 AM11時～PM10時　土曜 AM10時～PM10時 日曜 AM10時～PM6時

当塾では電話や戸別訪問等での営業活動は一切行っておりません。指導の充実を第一と考えています。名前の似た塾の勧誘を誤解して苦情を持ち込まれるケースが後を絶ちません。必ず相手の電話番号をお確かめ下さい。